

本書の見かた

この説明書はナビゲーションシステムの取り扱いについて説明しています。ご使用前に本書を十分お読みいただき、安全・快適なカーライフにお役立てください。

◎ **本システムを安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。**

◎ **「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。**

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などを以下のように表しています。

<メニュー>	コントロールパネルのスイッチやステアリングスイッチなどを < > で表します。
[情報]	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を [] で表します。

- 車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
- 本書で使用している画面やイラストは、仕様によりお客さまの車両と異なります。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ 安全上のご注意 .4	■ サービス・機能一覧 .6	■ 各部の名称と機能 .8	ご使用前の確認と設定	P.3
■ 基本的な使いかた .10	■ はじめに設定しておきたいこと .23			
■ EV情報メニュー .26	■ 航続可能距離・出力 .27	■ 充電スポット情報 .28	EV専用機能★	P.25
■ タイマー機能 .30	■ EV専用機能を設定する .33			
■ 地図表示について .36	■ 目的地を探す .41	■ ルートを設定する .46	ナビゲーション	P.35
■ ルートを編集・変更する .49	■ ルートメニューを使う .52	■ ナビゲーションを使いこなす .53		
■ 交通情報を使う .57	■ ETC®の各機能を確認・設定する .60			
■ オーディオ・テレビの基本操作 .62	■ ラジオを使う .63	■ USB・iPod・Bluetooth®オーディオ・HDMI★を使う .64	オーディオ	P.61
■ テレビを見る★ .71				
■ ハンズフリーフォンの基本操作 .76	■ 通話機能を使う .78	■ ショートメッセージ(SMS)機能を使う .80	ハンズフリーフォン、Apple CarPlay、Android Auto™	P.75
■ ハンズフリーフォンの設定をする .81	■ Apple CarPlay .83	■ Android Auto™ .85		
■ MITSUBISHI CONNECT .88	■ MITSUBISHI CONNECT を使う .92	■ MITSUBISHI CONNECT を使いこなす .97	MITSUBISHI CONNECT	P.87
■ 音声操作の基本操作 .100	■ 音声操作の使いかた .101	■ 音声操作の設定 .104	音声操作	P.99
■ 故障かな？と考える前に .106	■ 知っておいていただきたいこと .130	■ 索引 .143	付録	P.105

MEMO

安全上のご注意

運転中のご注意	P.4
停車時のご注意	P.4
スマートフォン連携ナビゲーションについてのご注意	P.4
安全運転のための機能	P.5

サービス・機能一覧

本機でできる機能	P.6
----------	-----

各部の名称と機能

コントロールパネル	P.8
ステアリングスイッチ	P.9
USBポート	P.9
カメラシステム	P.9

基本的な使いかた

メニュー画面について	P.10
通知のSwipeダウン	P.11
マップメニューを使う	P.11
情報メニューについて	P.12
機器接続画面の見かた	P.13
設定メニュー	P.17
音量を調整する	P.19
画質を調整する	P.20
時計を設定する	P.21
ソフトウェア更新のしかた★	P.22

はじめに設定しておきたいこと

キー連動メモリー機能のユーザー登録をする★	P.23
自宅／職場を登録する	P.23

安全上のご注意

本システムをご使用になる前に、以下の注意事項を必ずお読みください。これらは安全のために重要ですので、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

運転中のご注意



- 操作または画面を注視する際は、必ず安全な場所に停車してください。
- 運転中にオーディオなどを使用するときは、車外の音が聞こえる音量でご使用ください。外部の音が聞こえない状態で運転すると、安全運転の妨げになります。

アドバイス

- 道路状況やナビゲーションの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制・道路状況に従って走行してください。
- 経路探索結果により、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。運転の際は常に実際の道路状況に従って運転してください。
- 地図表示と標識検知機能によるマルチインフォメーションディスプレイでの表示は異なる場合があります。常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。マルチインフォメーションディスプレイについては車両取扱説明書をご覧ください。

停車時のご注意



- 屋内など換気の悪いところでの操作は、エンジンまたはプラグインハイブリッドEVシステムを停止させてから行ってください。車内や屋内に排気ガスが充満して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンまたはプラグインハイブリッドEVシステムを停止した状態でのご使用は12Vバッテリーあがりの原因となります。テレビなどのご使用はエンジンまたはプラグインハイブリッドEVシステム作動中に行ってください。

スマートフォン連携ナビゲーションについてのご注意



- 本体および接続機器を分解・改造・取り外しなどしないでください。感電・故障などの原因となります。
- 故障の原因となりますので、本体およびUSBメモリやHDMI*などの挿入口に異物を入れないでください。
- 画面が表示されない、音が出ないなど、異常が発生したときは使用を中止してください。

ださい。お客さまご自身で修理を行わずに必ず「三菱自動車販売会社」にご相談ください。

- Telematics Control Unitアンテナはインストルメントパネル上面の中央付近に内蔵されています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器(ICD)を使用している方は、アンテナから約15cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。サービスご利用時などにTelematics Control Unitの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器(ICD)の作動に影響を与えるおそれがあります。医療電気機器製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。

アドバイス

- ディスプレイの清掃は、車を安全な場所に停車して行ってください。
- ディスプレイの清掃は、システムの電源をOFFにして行ってください。電源がONのまま清掃すると誤操作の原因となります。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入り込むと、故障の原因になります。
- 低温時や高温時に一部の機能が動作しない場合があります。
- 本製品の故障、誤作動または不具合により本体に保存されなかった場合、データおよび消失したデータの補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。

アドバイス

- ETCユニット[®]を改造すると電波法により罰せられることがあります。
- 本システムは、複数のアプリケーションやスイッチ操作を同時に処理しますが、それらによるシステムへの負荷のため、動作が遅くなったり、システムがフリーズしてしまう可能性があります。
コントロールパネルスイッチやステアリングスイッチ操作は、一つ一つゆっくりと行ってください。
- 本システムは、エンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをONにした後、全てのアプリケーションが起動し使用可能になるまでに、約1分程度かかります。
以下の機能は起動中でも操作可能です。
①オーディオのボリューム調節
②音楽再生

本製品は、電波法と電気通信事業法に基づく適合証明を受けております。

Model name: AIVIP33A0

㊦ ㊦ 201-200658

㊦ ㊦ D 20-0152 201

本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

安全運転のための機能

走行中に操作できない機能

安全に運転をしていただくために、走行中にできない操作は、メニューを選べなくなります。また、文字/数字入力などの操作もできなくなります。
安全な場所に停車してから操作を行ってください。

画像表示制限

画像表示(テレビなどの動画)はパーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

アドバイス

- 地上デジタル放送視聴時、三菱自動車純正品以外の付属機器を接続すると、表示画面に不具合が生じる場合があります。純正品をご使用ください。

本機にはナビゲーション機能やオーディオ機能などに加えて、快適に運転できるように様々なサポート機能があります。
※本書に記載の機能、画面デザインなどは、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

本機でできる機能

本書に記載の機能は、設定条件によっては操作ができないまたは項目が表示されない場合があります。

	機能	概要	参照先
ナビゲーション	地図表示	＜現在地＞ボタンを押すと、いつでも自車位置を中心とした地図を表示できます。またタッチパネル操作で地図を自由に動かすことができます。	➡ P.36
	目的地設定	住所、施設ジャンル、キーワード検索、履歴など様々な方法で目的地を設定することができます。	➡ P.41
	ルートガイド	出発地から目的地に到着するまで音声と画像でルートを案内します。	➡ P.52
	交通情報(VICS)	FM多重放送より受信した情報から渋滞や駐車場情報などを確認できます。	➡ P.57
オーディオ	ラジオ	AM、FMラジオを聞くことができます。	➡ P.63
	地上デジタルテレビ	12セグ・1セグ自動切替、系列局サーチ機能により広範囲で地上デジタルテレビを受信します。	➡ P.71
	USBオーディオ、iPod	お手持ちのiPodをケーブルで接続して、ナビゲーションから操作しながら音楽を楽しむことができます。またUSBメモリに保存した音楽ファイルも再生できます。	➡ P.64
	Bluetooth®オーディオ	Bluetooth®対応のオーディオと接続して、音楽を再生できます。	➡ P.64
	HDMI	HDMI機器を接続することで、ポータブルブルーレイ/DVDプレイヤーなどの機器の映像/音声を視聴することができます。	➡ P.69
ハンズフリーフォン	Bluetooth®ハンズフリーフォン機能	Bluetooth®対応の携帯電話を接続することにより、かばんやポケットに電話を入れたままでも通話できます。	➡ P.75
	ショートメッセージ(SMS)機能	本機上で、携帯電話で受信したSMSを確認したり、送ったりできます。	➡ P.80
スマートフォン連携 (Apple CarPlay、Android Auto™)		お手持ちのスマートフォンを接続して、本機上でスマートフォンの機能を楽しむことができます。ナビゲーション機能、音楽再生機能、電話機能などを使用することができます。	➡ P.83 ➡ P.85
MITSUBISHI CONNECT		MITSUBISHI CONNECT とは、車両に搭載されているMITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」と情報センターが通信することで、ドライブに便利な情報を提供するサービスです。	➡ P.88

サービス・機能一覧

	機能	概要	参照先
EV専用機能	航続可能距離表示	現在の航続可能距離およびシステム出力を表示できます。	➡ P.27
	充電スポット表示	地図上に普通充電、急速充電の施設アイコンを表示できます。	➡ P.28
	充電スポットを探す	充電スポットを探して目的地(経由地)に設定できます。	➡ P.29
	充電スポット情報表示	充電設備の種類や設置台数、料金などの情報を表示できます。	➡ P.28
	タイマー充電	充電開始・終了時刻を設定して、夜間電力を活用できるようにタイマー予約ができます。	➡ P.30
	タイマーエアコン	運転開始時に快適な車内温度になるようにタイマー予約ができます。	➡ P.31
	電力消費計	航続可能距離やモーター、エアコン、その他の電装品の電力消費量を確認できます。	➡ P.27
音声操作		音声操作でナビゲーション、オーディオ、EV専用機能、ハンズフリーフォン、MITSUBISHI CONNECT を操作できます。	➡ P.99
カメラ		マルチアラウンドモニターを表示します。	車両取扱説明書

Diagram of the front panel of the device with numbered callouts:

- 1: TUNE SUBCL. PUSH+ SOUND button
- 2: Back button (left arrow)
- 3: Camera button (カメラ)
- 4: Mute button (静音)
- 5: Location button (現在地)
- 6: Menu button (メニュー)
- 7: Audio button (オーディオ)
- 8: Fast Forward button (right arrow)
- 9: VOL. button with a power symbol (電源)

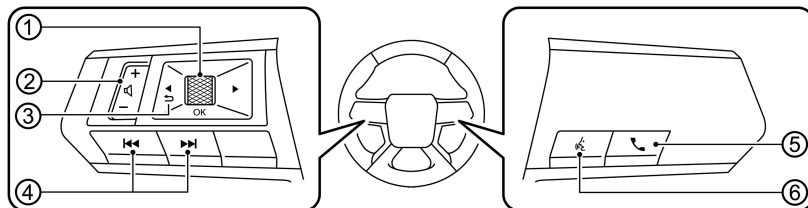
- ④ **<⋮>ボタン**
交通情報をききます。
- ⑤ **<現在地>ボタン**
現在地を表示します。ルートが設定されているときに長押しすると、最新のルートガイドを聞くことができます。
※ルートガイドとは交差点案内、渋滞情報、到着予想時刻案内になります。
- ⑥ **<メニュー>ボタン**
メニュー画面を表示します。
➡メニュー画面について (P.10)
長く押すと、メニュー画面を編集できます。
- ⑦ **<オーディオ>ボタン**
オーディオ画面を表示します。オーディオ画面を表示しているときに押すとSourceメニュー画面を表示します。

- (8) <◀▶>/<>▶▶> ボタン**
- チャンネル送り、自動選局、曲変更などができます。長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。
- (9) <VOL/> ◂ ▶ ダイヤル**
- 押すごとにオーディオをON/OFFします。
回すと音量を調節します。
オーディオがOFFのときに回すとONIになります。

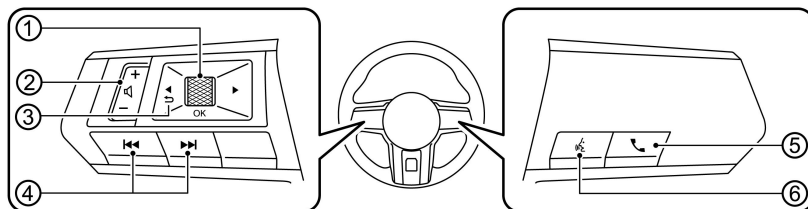
- 本システムは車両の電源と連動してON/OFFします。ただし、使用状況によっては、車両側電源よりOFFになるタイミングが遅れる場合があります。

ステアリングスイッチ

● タイプA



● タイプB

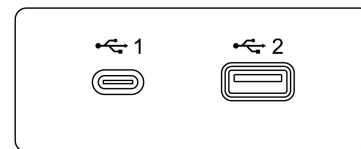


- ① <OK>ダイヤル
音声操作時に回すと項目を選択できます。
押すと選択した項目を確定します。
- ② <+ < ->ボタン
音量を調整します。
- ③ < < > >ボタン
音声操作時に一つ前の画面に戻ります。
- ④ < << >> > / < >> >ボタン
ラジオ／テレビの選局やiPodなどの選曲をします。

- 長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。
- ⑤ < < > >ボタン
ハンズフリーフォン操作画面に切り替えたり、通話に応答したり終了したりします。
- ⑥ < < > >ボタン
音声操作画面に切り替えます。 Apple CarPlay操作時に長押しするとSiriが起動します。 Android Auto™操作時に長押しするとGoogle アシスタント™が起動します。

USBポート

インストルメントパネルにUSBポートがあります。詳細は、車両取扱説明書をお読みください。



USBデバイスやiPod/iPhoneまたはAndroidスマートフォンを接続できます。

⚠ 注意

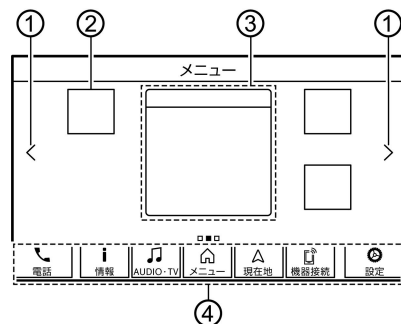
- USBデバイスを接続口に無理やり押し込まないでください。USBポートの種類によっては、USBデバイスを傾けたり上下逆に差し込もうとすると故障の原因になります。

カメラシステム

カメラシステムについては車両取扱説明書をお読みください。

メニュー画面について

＜メニュー＞ボタンを押すと、メニュー画面を表示します。メニュー画面はお好みに応じて編集することができます。



① [＜/＞]

[＜]をタッチすると前の画面、[＞]をタッチすると次の画面に進みます。

② ショートカットアイコン

ナビゲーション、情報、電話、オーディオ、設定などからよく使う項目をメニュー画面に表示させることができます。

③ ウィジェット

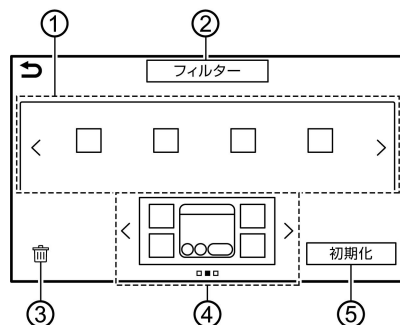
オーディオや時計など、よく見る情報を表示します。項目によってはタッチすると操作画面を表示します。

④ ランチャーメニュー

画面下部に表示され、各機能の画面に移動することができます。

メニュー画面を編集する

＜メニュー＞ボタンを長押しするとショートカットやウィジェットを、お好みに応じて編集することができます。



① 選択可能なウィジェットやショートカット

ウィジェットやショートカットアイコンを表示します。

② [フィルター]

カテゴリー、ショートカット、ウィジェットの絞り込みができます。

③ [削除]

[削除]をタッチして、ページレイアウトにあるウィジェットやショートカットアイコンを削除できます。

[全選択]をタッチするとすべてのアイコンを削除できます。

④ ページレイアウト

3ページ分の設定が可能です。ウィジェットまたはショートカットアイコンをドラッグして追加します。

⑤ [初期化]

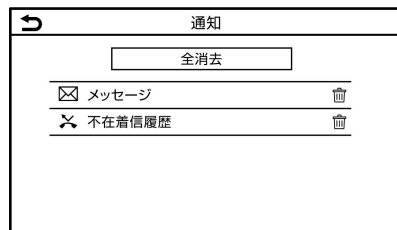
ページレイアウトに表示されるウィジェットまたはショートカットアイコンを初期化します。

知識

- ＜メニュー＞ボタンを押し、[設定]→[メニュー編集]をタッチしても、メニュー編集画面を表示します。
- [フィルター]でウィジェットを選択したときはカテゴリー選択できません。
- 削除したいアイコンをタッチしてから[削除]をタッチしても削除できます。
- 一度に複数のアイコンを削除したい場合は、[全選択]をタッチしてページレイアウトのアイコンをタッチします。

通知のSwipeダウン

表示画面によっては、Swipeダウンすると受信メッセージなどの通知のリストが表示されます。



知識

- リストに表示されている項目をタッチして、詳細を確認します。
- [閉]をタッチして消去します。
- [全消去]をタッチして、すべてのアイテムを削除します。

マップメニューを使う

地図画面上に表示される[≡]をタッチするとマップメニューが表示されます。

現在地のマップメニュー

現在地を表示中に[≡]をタッチ
メニュー項目が選べます。

項目	機能・操作説明
[ここを登録]	現在地を登録地として登録できます。
[施設ジャンルから]	施設ジャンルから目的地を設定します。 ➡ 施設ジャンル一覧 (P.42)
[地図表示設定]	地図表示を設定します。 ➡ 地図表示の設定 (P.38)
[施設アイコンの表示]	地図上に表示する施設アイコンを設定します。
[交通情報の設定]	VICS情報の各種設定をします。 ➡ VICSの設定をする (P.58)
[目的地消去]	目的地と経由地、案内中のルートが消去します。

地図を動かしたときのマップメニュー

カーソル(📍)が表示されているときに[≡]をタッチ
メニュー項目が選べます。

項目	機能・操作説明
[ここに行く]	カーソルの地点を目的地に設定します。
[ここをルートに追加]	カーソルの地点をルートに追加します。
[周辺施設を検索]	カーソルの地点周辺の施設を目的地や経由地に設定します。
[ここを登録]	カーソルの地点を登録地に設定します。
[消去]	カーソルを合わせた登録地を消去します。登録地にカーソルを合わせたときのみ選択できます。

情報メニューについて

＜メニュー＞ボタンを押し [情報] をタッチ

項目を選び各種情報画面を表示します。

表示項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目		機能・操作説明
[EV情報]		EV情報メニュー画面を表示します。 ➡ EV情報メニュー (P.26)
[通知]		通知の一覧を表示します。 ➡ 通知のSwipeダウン (P.11)
[MITSUBISHI CONNECT]		MITSUBISHI CONNECT 画面を表示します。 ➡ MITSUBISHI CONNECT メニュー (P.96)
[VICS情報]		VICS情報メニュー画面を表示します。 ➡ 交通情報を使う (P.57)
[ETC2.0情報]		ETC2.0情報メニュー画面を表示します。 ➡ ETCの各機能を確認・設定する (P.60)
[システム情報]	[バージョン情報]	本システムや地図のバージョン情報を確認できます。
	[ソフトウェア更新]	ソフトウェアの更新をしたり、ソフトウェア更新の設定をします。 ➡ ソフトウェア更新のしかた★ (P.22)
	[地図更新]	地図更新をしたり、地図更新の設定をします。 ➡ 地図更新について (P.92)
	[ライセンス情報]	ライセンス情報を確認できます。
[GPS現在地情報]		GPS情報を表示します。
[スマートフォン連携]		Apple CarPlayおよびAndroid Auto™が利用できるスマートフォンを接続していると、[Apple CarPlay]または[Android Auto]と表示されます。タッチするとApple CarPlayまたはAndroid Auto™画面を表示します。 ➡ Apple CarPlayを使う (P.83) ➡ Android Auto™を使う (P.85)

機器接続画面の見かた

本機に接続しているBluetooth®機器、Wi-Fi、USBなどの情報を表示します。

登録機器画面について

オーディオやハンズフリーフォンで使用する携帯電話や登録機器の登録情報を表示します。

<メニュー>ボタンを押し、[機器接続]→[登録機器]をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[登録]	Bluetooth®機器を本機に登録します。 携帯電話またはBluetooth®機器のBluetooth®設定でデバイス検索し、「Mitsubishi Motors」を選択します。 設定する機種によって、パスキー入力が必要です。
[⊙]	Bluetooth®設定画面を表示します。 🔍 登録機器の設定 (携帯電話) (P.15)
デバイス名	現在登録されているBluetooth®機器のデバイス名をリスト表示します。
[C]	Apple CarPlayが使用可能なデバイスを接続すると表示し、タッチすると接続または解除が切り替わります。
[A]	Android Auto™が使用可能なデバイスを接続すると表示し、タッチすると接続または解除が切り替わります。
[Q]	ハンズフリーフォンの接続状態を表示します。タッチすると接続または解除が切り替わります。
[♪]	Bluetooth®オーディオの接続状態を表示します。タッチすると接続または解除が切り替わります。
[i]	[機器情報]をタッチして登録されているBluetooth®機器の情報を表示します。 [消去する]をタッチすると登録したBluetooth®機器を消去します。 [スマートフォン接続設定]→[起動オプション]からスマートフォン接続時の起動オプションを選択できます。

アドバイス

- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールを剥がさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。



アドバイス

- Bluetooth®の登録中にエンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをOFFにした場合、登録は中止されます。故障の原因になりますので、登録中はエンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをOFFにしないでください。



知識

- Bluetooth®機器は6台まで登録できます。すでに6台登録されているときは、登録機器を1台削除してから登録を行ってください。
➡ 登録機器画面について (P.13)
- 優先接続が設定されているとき、「★」が表示されます。
- 電話メニューの[機器接続]にタッチしても機器接続を設定できます。
➡ ハンズフリーフォンの操作画面 (P.77)
- Bluetooth®オーディオ操作画面で[メニュー]→[機器接続]をタッチしても機器登録画面を表示できます。
➡ 操作画面の見かた (P.65)
- 初期登録後はエンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをONにすると自動的に接続されます。
- 携帯電話機側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照してください。また適応するBluetooth®携帯電話は『アウトランダー』および『トライトン』車種サイトからご確認ください。
- 入力したパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルを選びパスキーを変更してください。
- Bluetooth®オーディオは、機器により登録方法が異なる場合があります。詳しくは、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をお読みください。

■ 登録機器の設定 (携帯電話)

＜メニュー＞ボタンを押し、[機器接続]→[登録機器]→[🔍]をタッチ

設定項目を選びます。

表示項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[Bluetooth]	Bluetooth®をON/OFFします。Bluetooth®接続を利用するときはONに切り替えてください。
[マルチ接続]	ONにすると、Bluetooth®機器を同時に2台本機に接続できます。
[優先接続(電話)]	優先的に接続する機器を登録できます。登録した電話機のBluetooth®設定がONのとき、エンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをONにすると自動的に接続されます。
[デバイス名]	車載機のデバイス名称を変更します。
[パスキー]	車載機のパスキーを変更します。

知識

Apple CarPlayまたはAndroid Auto™が接続されているときは、登録機器の設定はできません。

Apple CarPlayまたはAndroid Auto™の接続を解除してから操作してください。

Wi-Fi画面について

本機は、自車位置周辺の利用可能なWi-Fiネットワークまたはスマートフォンのテザリング機能などを使用してWi-Fiに接続できます。

＜メニュー＞ボタンを押し[機器接続]→[Wi-Fi]をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
Wi-Fi	Wi-Fi接続ON/OFFを表示します。
[Wi-Fiスポット]	Wi-Fiスポット設定をON/OFFします。
[	Wi-Fi設定画面を表示します。
Wi-Fi接続先デバイス名	利用可能なWi-Fiデバイス名を表示します。 🔑 : パスワードが必要です。 📶 : 電波の受信状態を表します。
[i]	Wi-Fi情報を表示します。 [Wi-Fi自動接続]をONにすると、2回目以降は利用可能なネットワークに自動接続します。 [削除]をタッチすると、Wi-Fiの接続設定を削除します。

知識

- [Wi-Fi]のみがONの場合は、周辺の利用可能なWi-Fiスポットへ接続して、本機で情報を取得することができます。[Wi-Fiスポット]もONにすると、本機がWi-Fiスポットとなり、周辺機器をWi-Fi接続することができます。
- [Wi-Fiスポット]を使用するにはMITSUBISHI CONNECTのdocomo in Car Connect[★]への登録が必要です。
詳しくはdocomo in Car Connect のお申し込みサイト <https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/> をご覧ください。

■ Wi-Fiの設定

<メニュー>ボタンを押し [機器接続]→[Wi-Fi]→[]をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[Wi-Fi]	Wi-Fi接続のON/OFFを設定します。Wi-Fi接続を利用するときはONに切り替えてください。
[Wi-Fiスポット]	Wi-Fiスポット接続のON/OFFを設定します。Wi-Fiスポット接続を利用するときはONに切り替えてください。
[SSID]	本機のSSIDを表示します。タッチして変更できます。
[パスワード]	本機のネットワークパスワードを表示します。タッチして変更できます。

USB接続画面について

本機に接続しているUSBデバイス、またはスマートフォンを表示します。

<メニュー>ボタンを押し、[機器接続]→[USB]をタッチ

設定メニュー

設定項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

<メニュー>ボタンを押し[設定]をタッチ

各種設定画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[機器接続]	登録機器、Wi-Fi、USBの接続画面を表示します。  操作画面の見かた (P.65)
[電話]	ハンズフリーフォン設定画面を表示します。  ハンズフリーフォンの設定をする (P.81)
[ナビゲーション]	ナビゲーション設定画面を表示します。  ナビゲーション設定メニュー (P.53)
[サウンド]	サウンド設定画面を表示します。  オーディオの設定 (P.62)
[音量調節]	音量調整画面を表示します。  音量を調整する (P.19)

項目		機能・操作説明
[時計]		時計設定画面を表示します。 ➡ 時計を設定する (P.21)
[メニュー編集]		メニューの編集画面を表示します。 ➡ メニュー画面を編集する (P.10)
[オーディオソースバーの編集]		オーディオソースバーの編集画面を表示します。 オーディオソースバーに表示したいアイコンをドラッグし、編集します。 ➡ 操作画面の見かた (P.63) ➡ 操作画面の見かた (P.65)
[MITSUBISHI CONNECT]		MITSUBISHI CONNECT の設定画面を表示します。 ➡ MITSUBISHI CONNECT を設定する (P.97)
[音声設定]		音声認識やシステム音声の設定画面を表示します。 ➡ 音声操作の設定 (P.104)
[カメラ]		カメラ設定画面を表示します。 詳細は車両取扱説明書をお読みください。
[その他の設定]	[画面]	画面表示をOFFにしたり、画質を調整できます。 ➡ 画質を調整する (P.20)
	[言語]	画面表示の言語を切り替えます。
	[キーボード入力]	キーボード入力方法を切り替えます。
	[設定の初期化]	各種設定を工場出荷状態に初期化します。
[システム更新]		ソフトウェア更新設定画面を表示します。 ➡ ソフトウェア更新について (P.22)
[Apps]	[スマートフォン連携]	機器接続画面を表示します。
	[通知]	電話またはソフトウェア更新などの通知のON/OFF設定ができます。
[ユーザー情報]	[ユーザーリスト]	ユーザー情報の新規登録・編集およびユーザー設定のコピーや削除ができます。 ➡ キー連動メモリー機能のユーザー登録をする* (P.23)
	[キーレスオペレーションキー連動]	ユーザー情報をキーレスオペレーションキーと紐付けるかどうかの設定をします。設定をオフにすると、ログインの際は毎回未登録のゲストとして認識されます。

項目	機能・操作説明
[おもてなし案内]	ONにすると、パワースイッチの電源モードをONにしたときにおもてなし案内画面を表示します。 案内メッセージのあて名が自分の登録名と異なる場合には、ユーザーリストから他のユーザー、またはゲストを選んでください。

音量を調整する

機能ごとに音量が設定できます。

＜メニュー＞ボタンを押し、[設定] → [音量調節] をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[オーディオ音量]	オーディオ、テレビの音量を調整します。
[ガイド音量]	音声ガイドの音量を調整します。
[着信音量]	電話の着信音量を調整します。
[送話音量]	電話の送話音量を調整します。
[操作音]	タッチパネルの操作音をON/OFFします。 戻る画面がない状態で＜戻る＞ボタンを押すと音が鳴ります。
[ガイド・メッセージ音声]	音声ガイドのON/OFFを設定します。

知識

- 各項目の音量は、その音が出ているときにコントロールパネルの＜VOL/  ＞ダイヤルまたはステアリングスイッチの＜+  -＞ボタンでも調整できます。
調整時は、調整する音量の種類をアイコンで、現在の音量をバーグラフで表示します。
- 送話音量は、通話中のみ設定可能です。

画質を調整する

画面表示をOFFにしたり、画質を調整できます。

＜メニュー＞ボタンを押し[設定]→[その他の設定]→[画面] をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[画面]	画面表示のON/OFFができます。
[明るさ]	[+]、[-]をタッチして明るさを調整します。
[コントラスト]	[+]、[-]をタッチしてコントラストを調整します。
[黒レベル]	[+]、[-]をタッチして黒レベルを調整します。

知識

- 画面表示をOFFにした後、任意のコントロールパネルのボタンを押すと画面表示が一時的にONに戻ります。

時計を設定する

＜メニュー＞ボタンを押し[設定]→ [時計]をタッチ

設定項目を選びます。

項目		機能・操作説明
[常時表示]		画面上の時計表示のON/OFFを設定します。
[時計設定モード]	[自動]	GPSからの情報を使って自動で時刻を設定します。
	[手動]	[日時設定]から手動で日時を設定します。
[時間表示]		12H/24H表示を切り替えます。
[日付フォーマット]		年/月/日の表示フォーマットを設定します。
[オフセット調節(時間)]		[+]、[-]をタッチして時間を調整します。
[オフセット調節(分)]		[+]、[-]をタッチして分を調整します。
[日時設定]		[時計設定モード]が手動に設定されているときに時計表示を設定します。 [+]、[-]をタッチして時間を調整します。 [時間表示]が12Hに設定されているときは[AM]、[PM]を選びます。

知識

- 時計に表示されている時刻は、ナビゲーションのGPSにより、ほぼ正確に表示されます。
- 時計の設定はマルチインフォメーションディスプレイの時計設定と連動します。マルチインフォメーションディスプレイについては車両取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア更新のしかた★

MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」を使用してソフトウェアを更新することができます。

ソフトウェア更新について

- ソフトウェア更新を反映するには、パワースイッチの電源モードをOFFにしてから約20分かかります。20分より前にパワースイッチの電源モードを再度ONにすると、ソフトウェア更新の変更は反映されないことがありますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新が始まったら停車している必要はありません。車両の通信接続が切れても、再度接続したときに更新を再開します。

アドバイス

- 更新中にパワースイッチの電源モードをOFFにした場合は、次回パワースイッチの電源モードをONにしたときに自動で更新を開始(再開)します。

自動でソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新の設定を[自動]にしておくと、お知らせメッセージから更新することができます。

🔍 ソフトウェア更新を設定する (P.22)

お知らせメッセージが表示されたときに画面に従ってシステム操作する

ソフトウェア更新プログラムをダウンロードします。

ソフトウェア更新が終わったら、パワースイッチの電源モードをOFFにする

20分以上たってから、再度パワースイッチの電源モードをONにするとソフトウェア更新が反映されます。

手動でソフトウェアを更新する

MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」を使用して手動でソフトウェアを更新することができます。

🔍 ソフトウェア更新を設定する (P.22)

1. <メニュー>ボタンを押し[情報]→[システム情報]→[ソフトウェア更新]をタッチ

最終確認日が表示されます。

2. [ソフトウェア更新を開始]→[ダウンロード]をタッチ

ダウンロード後、ソフトウェア更新を開始します。

3. ソフトウェアの更新が完了し、パワースイッチの電源モードをOFFにした後、20分以上たってから、再度パワースイッチの電源モードをONにするとソフトウェア更新が反映されます。

ソフトウェア更新を設定する

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[システム情報]→[ソフトウェア更新]→[ソフトウェア更新の設定] →[手動]または[自動]を切り替える

はじめに設定しておきたいこと

キー連動メモリー機能のユーザー登録をする★

ユーザー登録すると、時計、オーディオ、運転ポジションなどの各種個人設定をユーザーごとに記憶することができます。

1. ユーザー登録をしたいキーを携帯しパワースイッチの電源モードをONにする
2. <メニュー>ボタンを押し、[設定]→[ユーザー情報]→[ユーザーリスト]→[新規登録]をタッチ
3. [編集]をタッチ
名前とアイコンを設定します。
4. [決定]をタッチ
登録が完了します。

ユーザー登録後、キー連動メモリー機能を使用するには[ユーザー情報]から[キーレスオペレーションキー連動]をONにしてください。

➡ 設定メニュー (P.17)

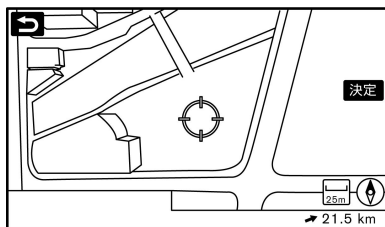
📖 知識

- ゲストに加えて3名分のユーザーを登録できます。
- ユーザーはキーレスオペレーションキーで自動認識されます。
- パワースwitchの電源モードをOFFにした時点の各種設定がユーザーごとに記憶されます。

自宅／職場を登録する

自宅／職場を登録しておく、簡単に目的地として設定することができます。

1. <現在地>ボタンを押し[目的地]→[自宅へ帰る]または[職場へ行く]をタッチ
メッセージが表示されたら[はい]をタッチし場所を探す方法を選びます。
2. 地図画面上で自宅または職場の場所にカーソル(📍)を合わせ、[決定]をタッチ
カーソル(📍)を合わせた場所を自宅または職場として登録します。



📖 知識

- 目的地設定をしていない場合、[自宅へ帰る]はナビメニューでタッチできます。
- ➡ 現在地の地図表示 (P.36)

MEMO

EV情報メニュー

EV情報メニュー画面	P.26
------------	------

航続可能距離・出力

航続可能距離・出力を見る	P.27
--------------	------

充電スポット情報

充電スポット情報を見る	P.28
-------------	------

タイマー機能

タイマー充電	P.30
--------	------

タイマーエアコン	P.31
----------	------

EV専用機能を設定する

EV情報設定	P.33
--------	------

EV情報メニュー画面

EV情報メニューにはEV(電気自動車)やPHEV(プラグインハイブリッドEV)を運転されるお客さまをサポートするための便利な機能があります。

EV情報メニュー

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[EV情報]をタッチ

表示させたい情報を選びます。

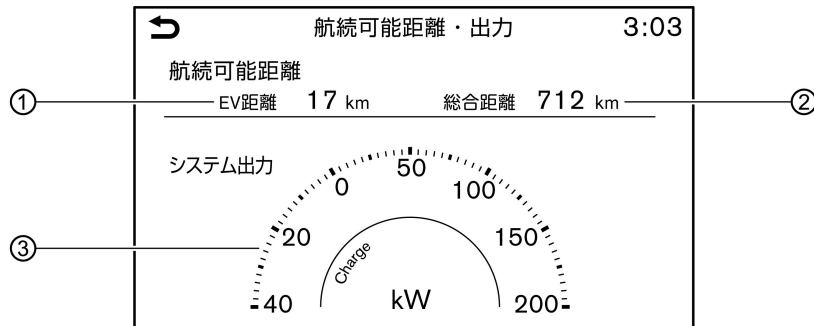
項目	機能・操作説明
[航続可能距離・出力]	航続可能距離の数値と、システム出力をメーターで表示します。 ➡ 航続可能距離・出力を見る (P.27)
[充電スポットを探す]	現在地周辺にある充電スポットを探します。 ➡ 充電スポットを探す (P.29)
[タイマー充電]	タイマー充電を設定します。 ➡ タイマー充電を設定する (P.30)
[タイマーエアコン]	タイマーエアコンを設定します。 ➡ タイマーエアコンを設定する (P.31)
[EV設定]	ナビゲーション画面に表示される通知などを設定します。 ➡ EV情報設定 (P.33)

航続可能距離・出力を見る

現在の航続可能距離とシステム出力を確認できます。

航続可能距離・出力画面の見かた

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[EV情報]→[航続可能距離・出力]をタッチ
航続可能距離・出力画面を表示します。



① EV距離

現在の駆動用バッテリーの残量で走行できるおおよその距離です。

② 総合距離

エンジン走行と合わせたおおよその航続距離です。

③ システム出力

走行状況に応じて、モーターの駆動出力やエンジンとの複合駆動出力を表示します。回生ブレーキ時はモーターの発電量を表示します。

知識

- 車速や駆動用バッテリーの状態(バッテリー残量、バッテリー温度)によっては、最大出力を出せない場合があります。
- 航続可能距離(EV距離/総合距離)表示は、走行のしかたにより変化します。直前の走行が、渋滞路、登坂、高速走行などのため電力を多く消費した場合や、走行時にエアコンが作動している場合は、駆動用バッテリーが満充電の場合でも、表示される数値が減少する場合があります。表示はあくまでも参考としてご利用ください。また、補機用バッテリーの端子を外した時は、それまでとは異なった値が表示されることがあります。

充電スポット情報を見る

充電スポット情報は更新されている可能性があります。目的地として設定される場合は、営業時間や充電設備などの情報をお客さま自身で確認されることをおすすめします。また、駆動用バッテリー残量を考慮したドライブ計画を立ててください。

充電スポットアイコンを表示する

充電スポットアイコンは、充電スポットの種類ごとに地図上に表示できます。

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[EV情報]→[EV設定]→[充電スポットアイコン表示設定]をタッチ

地図上に表示させたいアイコンの種類を選びます。[ON]が点灯し、地図上に各アイコンが表示されます。

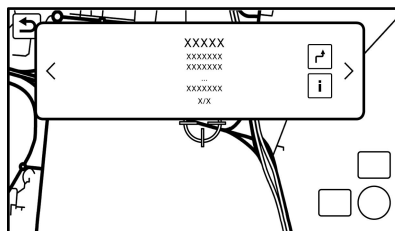
知識

- 登録地編集で設定した充電スポットアイコンは、この手順では表示のON/OFFはできません。
- e-Mobility Powerカードが利用できる充電スポットの表示をON/OFFできます。e-Mobility Powerカードとは、e-Mobility Power が提供する充電サービスに加盟している充電器、およびe-Mobility Powerが提供している充電器にて利用できる充電カードです。e-Mobility Powerカードのご案内、ご登録などの詳細情報は、下記のホームページからご覧いただけます。
URL: <https://www.e-mobipower.co.jp/>

地図上のアイコンから情報を見る

地図上の充電スポットアイコンにカーソル(⊕)を合わせるとポップアップ画面が表示されます。

- [⏏]をタッチすると目的地に設定します。
- [i]をタッチすると充電スポット情報画面を表示します。



充電スポットはサービスによりアイコンが異なります。

	普通充電器のみの施設
	急速充電器がある施設
	新しく登録、または情報が更新された普通充電器のみの施設
	新しく登録、または情報が更新された急速充電器がある施設
	24時間営業の普通充電器のみの施設
	24時間営業の急速充電器がある施設

知識

- 地図の縮尺レベルが2km以上のときは、充電スポットアイコンは表示されません。

■ 充電スポット情報画面の見かた

[i]をタッチすると充電スポット情報画面を表示します。詳細な情報を表示したり、施設に連絡したりできます。

[ここへ行く]	選択した充電スポットを目的地に設定します。
[電話をかける]	電話を接続しているとき、充電スポットに電話をかけることができます。

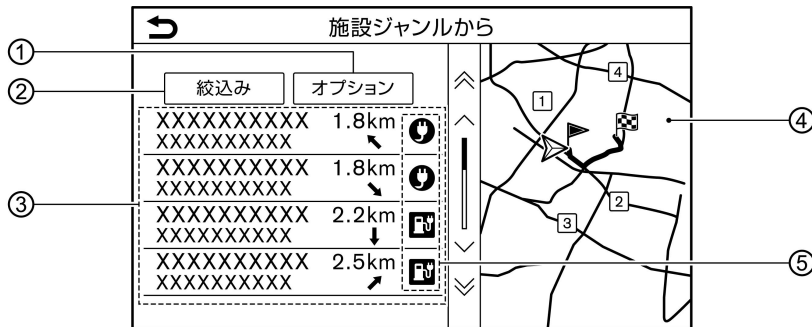
充電スポット情報画面について

- 施設によっては、すべての情報が表示されない場合があります。
- 充電スポット情報画面では、以下のような情報を確認できます。
 - 施設名称
 - 充電設備・コネクタタイプ・個数・利用状況
 - タイムスタンプ(利用状況が表示されているときのみ)
 - 営業時間
 - 定休日
 - データ更新日
 - 住所
 - 電話番号
 - 料金情報

充電スポットを探す

充電スポットリストを表示し、情報を見たり目的地に設定したりできます。

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[EV情報]→[充電スポットを探す]をタッチ



- ① [オプション]
充電スポットの探索条件を変更します。
- ② [絞り込み]
条件を選択してリストを絞り込みます。
- ③ 充電スポットリスト
タッチして目的地に設定できます。
- ④ 地図画面
リストの充電スポットの位置を番号で表示します。
- ⑤ 充電スポットアイコン
充電スポット情報画面を表示します。
📍 地図上のアイコンから情報を見る (P.28)

タイマー充電

充電の開始・終了時刻を予約しておくことにより、料金の安い夜間電力時間帯に充電ができます。

タイマー充電を設定する

普通充電にはタイマー機能があり、充電を行う時間帯をあらかじめ予約しておく、予約した時刻に充電の開始・停止を自動的に行います。

タイマー充電は、充電の開始時刻と停止時刻、作動する曜日を設定します。これらの設定は3パターン保存することができます。

曜日別に設定ができ、一週間ごとに繰り返すので、毎回設定する必要はありません。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報]→[EV情報]→[タイマー充電]をタッチ

タイマー充電

自宅でタイマー充電

☒ ON

1. 12:00AM - 12:00AM

月火水木金土日

☒ ON

2. 12:00AM - 12:00AM

月火水木金土日

☒ ON

3. 12:00AM - 12:00AM

月火水木金土日

☒ ON

[自宅でタイマー充電]	[ON](点灯)にすると、自宅でのみタイマー充電を行います。
[ON](タイマー設定)	[ON](点灯)にすると、タイマーがONになります。
[]	タイマー設定画面(下記)を表示します。タイマーを設定する曜日と充電開始/終了時刻を設定してください。

[ON]が消灯していると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日は消去されません。再度、タッチして[ON]を点灯させると、現在の設定条件でタイマー充電の予約ができます。

タイマー設定画面:

タイマー充電設定1

保存

開始時刻

2:30 AM

停止時刻

4:50 AM

Scheduled Days

月火水木金土日

現在時刻 04:12PM (Wed.)

[保存]	設定を保存します。
[開始時刻]	充電を開始する時刻を設定します。
[停止時刻]	充電を停止する時刻を設定します。
[Scheduled Days]	タイマー充電を行う曜日を設定します。

2. パワースイッチの電源モードをOFFにし、充電ケーブルを接続する

パワースイッチの電源モードをOFFにする方法、充電ケーブルの接続方法については、車両の取扱説明書をお読みください。

タイマー充電について

- タイマー充電を予約した後は、必ずパワースイッチの電源モードをOFFにしてください。パワースイッチの電源モードがONまたはACC状態になっていると、予約した充電開始時刻になっても充電は開始されません。パワースイッチの電源モードをOFFにする方法、充電ケーブルの接続方法については、車両の取扱説明書をお読みください。
- 設定した時間が必要充電時間より短いと、満充電まで充電されないことがあります。すぐに充電をしたい場合は、今すぐ充電をお使いください。今すぐ充電の詳細については、車両の取扱説明書をお読みください。
- 充電施設によっては、時間帯によって電源をON/OFFするタイマー機能を持つものがあります。このような充電施設で充電を行う場合は、充電施設の電源がONになる時間内でタイマー充電時刻を設定するようにしてください。
- タイマー充電中にタイマー充電の設定を変更した場合、変更内容は即時反映され、一度充電が停止します。その後パワースイッチの電源モードをOFFにすると、新しいタイマー設定に従って充電を開始あるいは待機します。
- タイマー充電の予約設定、今すぐ充電の開始はスマートフォンアプリからも操作できます。サービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリの登録を完了する必要があります。お手続きや詳細は、当社専用Webサイトをご確認ください。

➡ MITSUBISHI CONNECT とは (P.88)

タイマーエアコン

あらかじめ室内を快適な温度にすることで、エアコンの使用による駆動用バッテリーの電力消費量を減らすことができます。

タイマーエアコンを設定する

⚠ 警告

- タイマーエアコンを設定しても、システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車内に残さないでください。
- 炎天下では、密閉した車内の温度は急速に上昇し、熱中症や脱水症状などを引き起こすおそれがあります。また外気温が低い場合は、車内の温度が急速に下がるおそれがあります。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

ナビゲーション画面で出発予定時刻を設定すると、設定した出発時刻までに暖房または冷房が作動し、室内を設定した温度にします。曜日別の設定が3パターンまで保存でき、一週間ごとに繰り返すので、毎回設定する必要はありません。

1. <メニュー> ボタンを押し、[情報]→[EV情報]→[タイマーエアコン]をタッチ

タイマーエアコン

設定温度

←

25.0 °C

→

1. 出発時刻 12:00AM

月火水木金土日

■ ON

?

2. 出発時刻 12:00AM

月火水木金土日

■ ON

?

2. 出発時刻 12:00AM

月火水木金土日

■ ON

?

[+]/[-]	温度を設定します。
[ON] (タイマー設定)	[ON] (点灯) にすると、タイマーがONになります。
[?]	タイマー設定画面 (下記) を表示します。タイマーを設定する曜日と出発時刻を設定してください。

タイマー設定画面:

タイマーエアコン設定2

保存

出発時刻

12:00 AM

Scheduled Days

日月火水木金土

現在時刻 04:15PM (Wed.)

[保存]	設定を保存します。
[出発時刻]	設定温度に到達する時刻を設定します。
[Scheduled Days]	タイマーエアコンを行う曜日を設定します。

2. 設定が完了したら、パワースイッチの電源モードをOFFにする

パワースイッチの電源モードをOFFにする方法については、車両の取扱説明書をお読みください。

[ON]が消灯していると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日は消去されません。再度、タッチして[ON]を点灯させると、現在の設定条件でタイマーエアコンの予約ができます。

タイマーエアコンについて

- タイマーエアコンを予約した後は、必ずパワースイッチの電源モードをOFFにしてください。パワースイッチの電源モードがONになっていると、予約した開始時刻になってもエアコンが作動しません。パワースイッチの電源モードをOFFにする方法は、車両の取扱説明書をお読みください。
- タイマーエアコンは、設定した出発予定時刻までに車内が設定した温度になるように、エアコン作動開始時刻を自動で設定しています。また出発予定時刻になると、エアコンが停止します。設定した出発予定時刻よりも

早くまたは遅れて車に乗り込むと、車内の温度が快適な温度になっていない場合があります。

- タイマーエアコンは電源電力を使用するため、外気温が高すぎたり低すぎたりして設定温度との差が大きいときや日射量が多いときは、性能が制限されて車内が設定した温度にならないことがあります。
- 外気温が低いときや雪が降っているときなどは、十分な暖房性能が得られず車内が設定した温度にならない場合があります。
- 充電中にタイマーエアコンが作動すると、充電に必要な時間が延びることがあります。
- 外気温が高いときや低いときにタイマーエアコンを作動させると、駆動用バッテリーの充電量が低下することがあります。
- 車種によっては、タイマーエアコンの温度設定は25°Cに固定されます。
- タイマーエアコンの出発時刻と曜日の予約設定はスマートフォンアプリからも操作できます。サービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリの登録を完了する必要があります。お手続きや詳細は、当社専用Webサイトをご確認ください。

➡ MITSUBISHI CONNECT とは (P.88)

知識

- 外気温が-15°C近くまで下がると、ヒートポンプが停止し暖房が使用できません。

EV情報設定

EV設定メニュー

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[EV情報]→[EV設定]→[ナビ画面への通知]をタッチする

設定項目を選びます。

<設定項目>

項目	機能・操作説明
[充電状態の通知]	充電プラグの挿し忘れや充電状況をID連携されたスマートフォンに通知されます。 ➡ MITSUBISHI CONNECT (P.88)
[充電スポット表示]	地図上に充電スポットアイコンを表示します。 ➡ 充電スポットアイコンを表示する (P.28)
[充電スポットアイコン表示設定]	アイコンを地図上に表示するON/OFF設定ができます。 ➡ 充電スポットアイコンを表示する (P.28)
[充電スポット自動登録]	地図データに収録されていない充電スポットを利用したとき、自動的に登録地として保存します。自動登録する充電スポットは[急速充電]、[標準]、[普通充電(100V)]から選ぶことができます。充電スポットを自動登録したくないときは、全ての設定をOFFにしてください。

 知識

- 営業時間外の充電スポットは  または  で表示し、営業時間内、営業情報が取得できない充電スポットを  または  で表示します。隔週定休日、不定期な営業時間については対応していません。

■ 充電状態の通知について

プラグ挿し忘れ通知について:

- 設定した時間を迎えたときに充電プラグの挿し忘れがあった場合は通知しますが、設定した時間を過ぎてしまうと、その後に充電プラグが抜けても通知されません。
- 普通充電コネクタがきちんと挿しこまれていない(半勘合)場合にも通知します。
- 車両が電波の届かない場所にある場合は通知されません。
- 充電プラグが抜けた理由は確認できません。
- パワースイッチの電源モードがONのときは通知されません。

充電完了通知について:

- 情報センターからは充電停止のメッセージが送られてきます。
- 必ずしも充電が完了したことを通知するわけではありません。
- 設定した時刻にタイマー充電が正常に作動しなかったことを通知するわけではありません。
- 充電プラグがコンセントから外れて給電が止まった場合は、15分後に通知されます。
- 充電が停止した理由は確認できません。
- 車両が電波の届かない場所にある場合は通知されません。
- 2週間以上、車を使用しなかった場合は通信できません。
- パワースイッチの電源モードがONのときは通知されません。

地図表示について

現在地の地図表示	P.36
地図上のマークや記号について	P.37
地図表示の設定	P.38
施設情報を見る	P.40

目的地を探す

目的地検索画面	P.41
施設ジャンル一覧	P.42
検索結果の絞り込み	P.45

ルートを設定する

ルート探索結果の見かた	P.46
-------------	------

ルートを編集・変更する

現在のルートを編集する	P.49
ルート探索条件メニュー	P.50
ルートガイドを中止する	P.51

ルートメニューを使う

ルートメニュー一覧	P.52
-----------	------

ナビゲーションを使いこなす

ナビゲーション設定メニュー	P.53
登録地を編集する	P.54
回避エリアの登録と編集	P.55
セーフティガイドを設定する	P.56

交通情報を使う

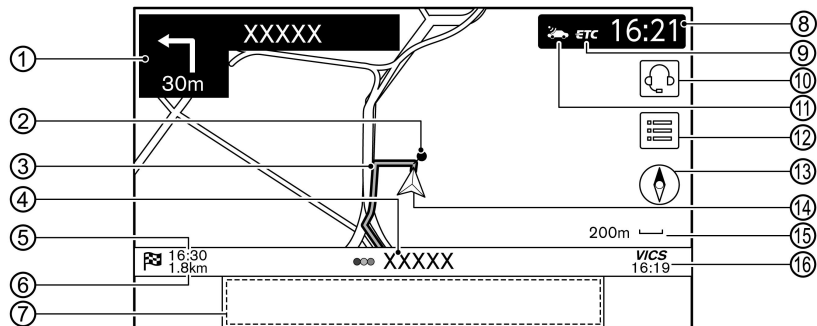
VICSについて	P.57
VICS FM多重情報を見る	P.57
VICSの設定をする	P.58

ETC[®]の各機能を確認・設定する

確認・設定のしかた	P.60
-----------	------

現在地の地図表示

表示項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。
 <現在地>ボタンを押す、またはランチャーメニューの[現在地]をタッチすると、地図画面を表示します。地図画面をタッチするとカーソル()が表示され、画面の中心になるように地図が移動します。
 走行中は、安全のため微調整はできません。



- ① 簡易右左折表示
次に曲がる交差点までの距離と、曲がる方向を示します。
- ② ガイド地点
ルートガイドが行われる地点をアイコンで表示します。
- ③ ガイド中のルート
目的地までの経路を示します。
- ④ 現在地の情報
状況に応じて、以下の情報が表示されます。
 - 自車位置付近の地名
 - 走行中の道路の名称
 - 次に通過する交差点の名称

- ⑤ 到着予想時刻
目的地の到着予想時刻を表示します。
- ⑥ 目的地までの距離
目的地までの距離を表示します。
- ⑦ ナビメニュー
画面下部に表示され、各ナビ操作画面に移動できます。表示内容はルート設定の有無により異なります。
 [詳細]: 地図を拡大します。
 [広域]: 地図を縮小します。
 画面上でピンチイン・ピンチアウトすることでも拡大・縮小ができます。
- ⑧ 時計
現在時刻を表示します。12時間/24時間表示を切り替えることができます。

タッチすると時計を設定できます。

- ⑨ ETCアイコン
ETCが使用可能なときに表示されます。
- ⑩ []
オペレータに接続できます。
 MITSUBISHI CONNECT (P.88)
- ⑪ Telematics Control Unitアイコン
MITSUBISHI CONNECT の受信状態を表示します。
電波の受信状態が良好なときに が表示されます。
- ⑫ []
マップメニューを表示します。
 マップメニューを使う (P.11)
- ⑬ 方位マーク
地図の方向を示します。タッチすると、地図の向きを進行方向を上、または北を上に変えることができます(2Dビュー時のみ)。また、2Dビューと3Dビューを切り替えることができます。
- ⑭ 自車マーク
自車位置と進行方向を示します。
- ⑮ 縮尺サイズ
地図の縮尺を表示します。
- ⑯ VICSの受信時刻
VICS受信時刻を表示します。

アドバイス

- ピンチイン/ピンチアウトで地図の縮尺を変えた場合は、地図画面上の[]をタッチするか、またはコントロールパネルの<戻る>ボタンを押すと、元の縮尺に戻ります。
- 場所により、地図を拡大すると建物などがより詳しく表示されます(市街地図)。

地図上のマークや記号について

地図上のマークや記号

記号	記号の意味	記号	記号の意味	記号	記号の意味
	自転車マーク		高速道路入口		高速道路出口
	目的地		一方通行マーク (市街地図のみ)		ガイド地点 (ルートガイドが行われるポイント)
	経由地 (番号は経由する番号)		登録地		カーソル (施設アイコンにあわせると施設情報を表示)

ガイド中のルート、道路、鉄道など

表示例			
道路の表示色	道路の種類	鉄道の表示色	鉄道の種類
黄	ガイド中のルート	黒	鉄道(JR)
青	有料・高速道路	紫	鉄道(私鉄)
赤紫	国道		
緑	県道・主要地方道路		
薄茶	一般道		

地図表示の設定

<メニュー>ボタンまたは <現在地>ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション]→[地図表示設定]をタッチ
設定項目を選びます。

項目		機能・操作説明
[地図ビュー切替]		2Dビュー、2画面 (2D)、3Dビュー、2画面 (3D)に地図ビューの切替ができます。3Dビュー表示のとき、指2本でタッチしたまま上下方向にスライドすると、地図の表示角度が変わります。<現在地>ボタンを押すと元の角度に戻ります。
[常時表示設定]	[交差点拡大図]	交差点などのガイド地点に近づくとき音声と画面で表示ルートを案内します。ガイド画面を常に表示させるか設定ができます。<現在地>ボタンを押すと表示を非表示にできます。
	[交差点リスト]	ガイドする地点リストを表示し、ガイド地点(交差点など)に近づくとき、交差点拡大図に切り替わります。<現在地>ボタンを押すと表示を非表示にできます。
	[常時表示解除]	ガイド地点から離れている場合、現在地の地図を表示します。ガイド地点に近づくとき、交差点拡大図が表示されます。
[施設アイコンの表示]		地図上に表示する施設アイコンを設定します。

地図表示について

[その他の設定]	[地図の向き]	地図を表示させる向きを設定します。
	[進行方向を広く表示]	地図の向きを[進行方向を上]に設定しているときに、進行方向を広く表示します。
	[2画面の左地図設定]	左画面の地図表示設定をします。
	[地図上オーディオ表示]	地図画面上のオーディオ表示のON/OFFを設定します。
	[地図色]	強調したい地図情報を設定します。
	[地図文字サイズ]	地図上の文字の大きさを設定します。
	[地図上名称表示]	地図上に表示する名称の表示ON/OFFを設定します。
	[スクロール地点情報表示]	スクロール地点の各情報表示のON/OFFを設定します。
	[走行軌跡設定]	走行軌跡表示のON/OFFや間隔を設定、消去をします。
[現在地へ戻る]	[ハイウェイモードの自動表示]	高速道路走行中のハイウェイ情報画面の自動表示のON/OFFを設定します。
		地図画面を表示します。

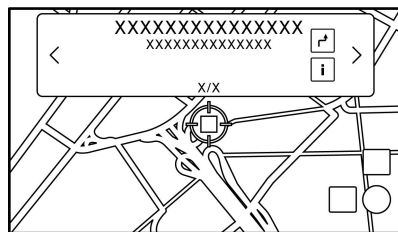
施設情報を見る

地図上のマークや記号にカーソルを合わせていろいろな情報を表示できます。

地図上にガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの施設アイコンが表示されているときに、施設アイコンにカーソル(⊕)を合わせると施設情報を表示します。

[P]をタッチして、目的地に設定できます。

[i]をタッチするとさらに詳しい情報を表示します。



知識

- 情報データが収録されていない場合は表示されません。
- 複数施設がある場合、[<]、[>]をタッチして施設を切り替えることができます。

目的地検索画面

いろいろな方法で目的地を探すことができます。

＜現在地＞ボタンを押して[目的地]をタッチ

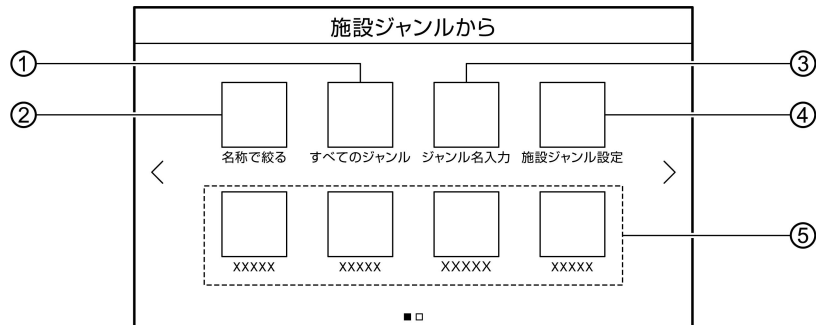
目的地メニュー画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[Q]	施設名や住所の他、目的地に関連するワードを入力して目的地を検索します。 住所、施設名など複数のキーワードを入力するときは、「映画館 横浜」のようにワード間にスペースを入力してください。
[自宅へ帰る]	あらかじめ設定した自宅を目的地に設定します。自宅が未登録の場合はメッセージが表示されます。
[住所から]	住所を入力して目的地を検索できます。
[施設ジャンルから]	施設ジャンルから目的地を設定します。 検索結果リストで[オプション]をタッチするとさらに条件を指定して絞り込みます。 ➡ 施設ジャンル一覧 (P.42)
[登録地点から]	あらかじめ登録した場所を目的地に設定します。[新規登録]をタッチすると新しく登録地を設定できます。
[履歴から]	以前の目的地履歴から目的地を設定します。 [目的地履歴の消去]をタッチすると履歴を消去することができます。
[職場へ行く]	あらかじめ設定した職場を目的地に設定します。職場が未登録の場合はメッセージが表示されます。
[電話番号から]	電話番号から目的地を設定します。 入力した電話番号に該当する施設が複数ある場合は、施設リストが表示されます。 個人宅の電話番号は、個人情報保護のため収録されておりません。
[登録ルートから]	登録ルートを目的地に設定します。 ルートの登録は地点や探索条件のみが登録され、探索したルートは登録されません。 登録ルートを利用するときにルート登録時と現在地、道路状況などが異なる場合は、前回と異なるルートを表示することがあります。
[地図から]	地図画面から目的地を設定します。
[緯度経度から]	緯度・経度から目的地を設定します。 入力した緯度と経度が地図データに収録されていない場合は、場所を検索できないことがあります。

施設ジャンル一覧

施設ジャンルから目的地を設定します。

＜現在地＞ボタンを押し、[目的地]→[施設ジャンルから]をタッチ



- ① **[すべてのジャンル]**
すべてのジャンルリストを表示します。
- ② **[名称で絞る]**
施設の名称で絞り込みます。
- ③ **[ジャンル名入力]**
ジャンル名入力をして絞り込みます。
- ④ **[施設ジャンル設定]**
施設ジャンル一覧画面下段および2ページ目の任意ジャンルに表示する施設ジャンル項目を設定できます。
- ⑤ **任意ジャンル**
[施設ジャンル設定]で設定した施設ジャンルから絞り込みます。

知識

- ＜メニュー＞ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション]→[設定を初期状態に戻す]をタッチすると、表示される任意の施設ジャンルの設定を初期化できます。

施設ジャンル (例)

施設ジャンルは以下のような項目が選べます。選べるジャンルは、地図更新などにより変更されることがあります。

- 観る・遊ぶ
- 食べる・飲む
- 買い物・店
- 泊まる
- 交通機関
- 銀行・学校・役所
- クルマ関連施設
- 病院・福祉施設
- 神社・教会・寺院・式場

ジャンルによっては、ジャンルを選ぶとさらに詳細な項目が選べます。

＜ジャンル選択例＞

観る・遊ぶ	遊園地・テーマパーク
	動物園・水族館・植物園
	温泉・お風呂
	ゴルフ
	公園
	ビューポイント
	観光名所
	自然景観地
	スポーツ施設
	スキー・スノボ場ほか

目的地を探す

	マリンスポーツ
	モータースポーツ・サーキット場
	スタジアム
	ビーチ・海水浴場・海岸
	キャンプ場
	つり
	マリーナ・ヨットハーバー
	遊覧・フェリー
	ボウリング・カラオケ・パチンコほか
	映画館
	ライブハウス
	劇場・寄席
	美術館・画廊
	博物館・科学館ほか
	花火大会
	花の名所
	くだもの狩り
	生物観察ポイント
	プラネタリウム
	観光案内・販売
	競馬・競輪ほか
食べる・飲む	ファミレス
	ファーストフード
	すし店

	うどん・そば
	肉料理
	ステーキハウス
	カレーハウス
	ラーメン
	パスタ
	コーヒーショップ
	お好み焼き・鉄板焼ほか
	和食・海鮮料理
	割烹・懐石
	フランス料理
	イタリア料理
	中華料理
	各国料理
	郷土料理
	喫茶店・甘味処
	ドライブイン・道の駅
	ピザ
	お弁当
	飲み屋
買い物・店	コンビニ
	スーパーマーケット
	デパート
	アウトレットモール・ショッピングセンター

	ドラッグストア
	ホームセンター
	ディスカウントストア
	100円ショップ
	家電製品・量販店
	携帯電話ショップ
	レンタルショップ
	CD・DVD・ビデオ
	本・書店
	衣料品店
	スポーツ用品
	マリンスポーツ
	おもちゃ・ゲーム・子供用品
	ケーキ・お菓子・パン・アイス
	食材・食料品・酒店
	お弁当
	クリーニング
	美容・理容・アロマ
	めがね・コンタクト
	時計・アクセサリ
	かばん・靴
	日用品・雑貨品・文具
	インテリア用品・家具ほか
	リサイクルショップほか

	カー用品
	自転車店
	住まい
	宝くじ・スポーツくじ販売
	プレイガイド・金券
	つり・趣味の店
	ペット
	花・園芸
	オーディオ・楽器
	写真館
	観光案内・販売
	ドライブイン・道の駅
	みやげ・郷土品
	朝市・夕市・定期市
	仏壇・仏具・墓石
泊まる	ホテル
	旅館
	温泉・お風呂
	ビジネスホテル
	公共の宿
	民宿
	ペンション
	他の宿泊施設
交通機関	駅
	空港

銀行・学校・役所	フェリー
	ドライブイン・道の駅
	都市銀行
	地方銀行
	ゆうちょ銀行
	学校
	役所
	郵便局
	信用金庫
	信用組合
	その他金融機関
	図書館
	塾・スクール・習い事
	運転免許試験場
	ホール・会館
	公民館・集会所
	警察署
	消防署
	保健所
	年金事務所
	税務署
	法務局
	裁判所
	外国公館
	大使館・領事館

クルマ関連施設	三菱自動車販売店
	ガソリンスタンド
	充電スポット
	駐車場
	カー用品
	洗車場
	ドライブイン・道の駅
	レンタカー
	三菱中古車販売
	その他中古車販売・買取
	その他自動車販売
	モータースポーツ・サーキット場
	運転免許試験場
	自動車教習所
	板金・塗装
病院・福祉施設	自動車整備・解体
	ロードサービス
	JAF
	代行サービス
	オートバイ関連
	公衆トイレ
	総合病院
	病院・医院・療養所
	専門病院

	はり・きゅう・マッサージ・整体
	介護・福祉施設・老人ホーム
	リハビリ・ホスピス
	動物病院
	神社
	教会
神社・教会・寺院・式場	仏教教会
	寺院
	結婚式場
	葬祭場・霊園
	ホール・会館

知識

- 目的地検索結果画面に表示される距離は直線距離を表し、実際の走行距離と異なります。

検索結果の絞り込み

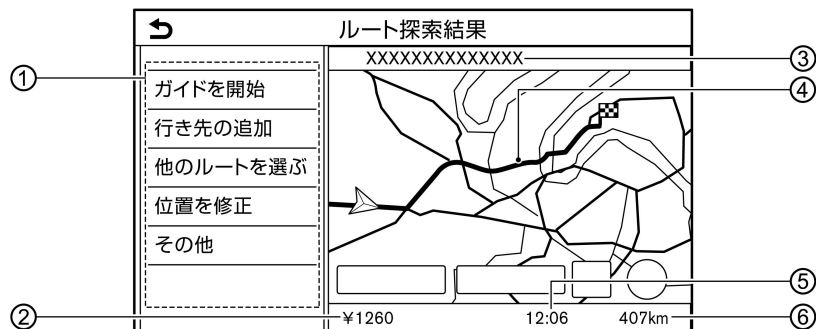
施設ジャンルからの検索結果リストで[オプション]をタッチすると、表示方法が選べ、[絞り込み]をタッチすると詳細な施設ジャンルが選択できます。

項目	機能・操作説明
[ルート沿い]	目的地が設定されている場合、ルート沿いの検索結果を表示します。
[目的地周辺から探す]	目的地が設定されている場合、目的地周辺の検索結果を表示します。
[地域を指定する]	地域を指定して絞り込みます。
[現在地周辺から探す]	現在地周辺の検索結果を表示します。
[並べ替え]	読み順または距離順で並び替えます。

ルート探索結果の見かた

目的地を設定したら、ルートガイドを始める前に、ルートの確認や他のルートの選択、施設情報の確認などができます。

ルート探索結果画面の見かた



①操作メニュー

項目	機能・操作説明
[ガイドを開始]	目的地までのルートガイドを開始します。ルート探索結果を表示したまま、しばらくナビゲーションシステムの操作をしないと、自動的にガイドを開始します。
[行き先の追加]	目的地、経由地の追加をします。
[他のルートを選ぶ]	探索条件に応じたルートをそれぞれ表示します。到着予想時間、走行距離などを表示します。
[位置を修正]	設定した目的地位置の微調整ができます。
[その他]	情報を見たり、場所やルートの登録ができます。

ルートを設定する

②有料道路の通行料金(目安)

③目的地の情報

目的地の登録名称、施設名称、住所などを表示します。

④目的地までのルート

⑤目的地に到着する予想時間

目的地に到着する予想時間を表示します。経由地を設定している場合、一番近い経由地に到着する予想時間を表示することもあります。画面が切り替わると表示位置が変わります。

⑥目的地までの距離

現在地から、目的地までの距離を表示します。経由地を設定している場合、一番近い経由地までの距離を表示することもあります。画面が切り替わると表示位置が変わります。

知識

- 都市間高速(東名高速、中央道、名神高速など)、都市内高速(首都高速など)や、それらに接続される一般有料道路(東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)管理)がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、料金は目安です。
- 経由地を設定しているときは、ルートを変更できません。
- Apple Carplay/Android Auto™の地図アプリでルートを設定すると、本機能のルート案内が中止される場合があります。

他のルートを選ぶ

ルート探索結果から設定したいルートを選びます。

1. ルート探索結果から[他のルートを選ぶ]をタッチ

条件別にルートを表示します。

2. [決定]をタッチ

選んだルートが設定されます。

項目	条件
[有料道優先]	有料道路を優先して使用するルートです。
[省エネ]	勾配の多い道や走行速度の速い道路を避けた、燃費を考慮したルートです。
[一般優先]	航続時間を考慮しつつ有料道路を使わないルートです。
[距離優先]	一般道路を優先した、距離の短いルートです。(VICS情報は規制情報のみ考慮します。)

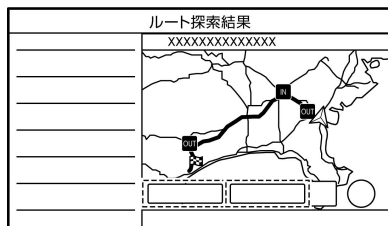
知識

- 経由地を設定しているときは、ルートを変更できません。
- [同一探索条件]をタッチすると、現在選択しているルート探索条件と同じ条件で複数のルートを表示します。

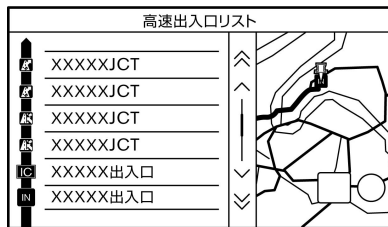
有料区間の修正をする

ルートに有料道路がある場合、出入口を変更して区間の修正ができます。

1. ルート探索結果から有料道路の入口または出口をタッチ



2. お好みの有料道路出入口をタッチ
出入口を変更して区間を修正します。



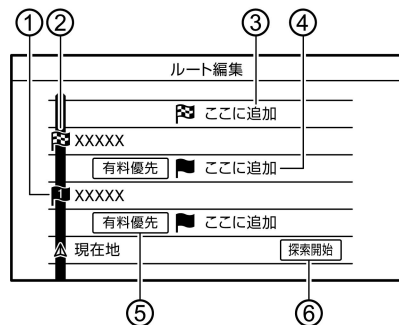
知識

- ルート上の最初の有料道路入口と最後の出口のみ変更可能です。ルート内にジャンクションがある場合は、ジャンクションを選ぶと他路線の出入口を選べます。

現在のルートを編集する

＜現在地＞ボタンを押し、[ルート]→[ルート編集]をタッチ

設定されているルートの目的地や経由地、探索条件を変更できます。



① 経由地

経由地の消去や到着順の変更、位置の修正などができます。

② 目的地

目的地の消去や到着順の変更、位置の修正などができます。

③ [ここに追加]

目的地を追加します。目的地を新たに追加した場合、設定済みの目的地が経由地となります。

④ [ここに追加]

経由地を追加します。

⑤ 区間探索条件

目的地/経由地までのルートについてルート探索の条件を変更できます。

⑥ [探索開始]

編集した内容で再度ルート探索を行います。

ルート探索条件メニュー

＜現在地＞ボタンを押し、[ルート]→[ルート探索条件]をタッチ

ルート探索条件メニューからルート探索条件を変更することができます。

項目	機能・操作説明	
[探索条件]	ルート探索条件を設定します。有料道路、一般道路優先などの条件を設定します。	
[その他の条件]	[時間規制道路]	ルート検索時に規制のある曜日、時間を考慮するか設定します。
	[冬季通行止め]	ルート検索時に規制時期を考慮するか設定します。
	[回避エリアを通らない]	設定した回避エリアを考慮してルートを探します。
	[フェリー航路を使う]	フェリー航路の使用を考慮したルートを探します。
	[横付け考慮]	目的地が進行方向になる(横付けできる)ように考慮してルートを探します。
	[未舗装道路を使う]	未舗装の道路を考慮してルートを探します。
	[スマートICを考慮]	スマートICを考慮したルートを探します。
	[学習したルートを使う]	よく利用する道路を考慮したルート探索をします。 ただし、リアルタイム交通情報を考慮している場合や、時間規制道路を回避するに設定している場合にはルートを学習しづらくなることがあります。
[複数ルート探索条件]	ルート探索結果画面に表示されるルート条件を設定します。 [探索条件別]: ルート探索条件別に複数のルートを表示します。 [同一探索条件]: 現在選択しているルート探索条件と同じ探索条件で複数のルートを表示します。	
[到着予想時刻の表示切替]	到着予想時刻の表示を目的地が最寄りの経由地に設定します。 [目的地]: 目的地までの到着予想時刻を表示します。 [最寄りの経由地]: 現在地から一番近い経由地までの到着予想時刻を表示します。	
[到着時間設定]	表示される到着時間を設定します。 [到着予想時間]: 予想される到着時間を表示します。 [旅行時間]: 予想される到着までにかかる時間を表示します。	

ルートを編集・変更する

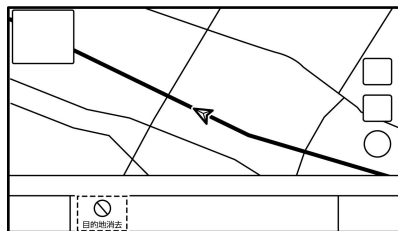
知識

- <メニュー>ボタンを押して、[設定]→[ナビゲーション]をタッチしてもルート探索条件を変更できます。
- [探索条件]で[一般優先]をタッチしても、目的地を有料道路上（SA・PAなど）や、有料道路を通らないと到着できない場所（本州→四国、九州など）に設定すると、有料道路を通るルートを探索する場合があります。
- [探索条件]の[距離優先]は一般道を優先するため、有料道路を優先したルートより距離が長くなる場合があります。
- 時間指定の一方通行規制は、探索条件の[時間規制道路]の設定をしても、ルートの探索に加味されません。

ルートガイドを中止する

ルートが設定されているときにナビメニューの
[目的地消去]をタッチ

確認メッセージが表示され、[はい]をタッチすると目的地を消去し、ルートガイドを中止します。



知識

- <現在地>ボタン→[ルート]→[目的地消去]でもルートを消去できます。

ルートメニュー一覧

ルート設定後に＜現在地＞ボタンを押し[ルート]をタッチ
ルートメニュー画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[目的地消去]	設定している目的地を消去します。目的地を消去すると、設定したルートも同時に消去されます。
[ルート情報]	走行する道路の種類や距離、目的地への到着予想時刻などを表示します。 道路をタッチすると[回避道路に選択]→[再探索]をタッチして指定した道路を通らないルートに修正できます。
[迂回路探索]	迂回距離を設定し、迂回路を探索します。 迂回距離を設定している場合、[解除]をタッチすると迂回距離設定を消去できます。
[ルート探索条件]	ルートの探索条件を設定します。 ➡ ルート探索条件メニュー (P.50)
[再探索]	現在地から目的地までのルートを再探索します。
[目的地表示]	目的地を地図画面上に表示し、位置の修正や周辺施設の検索などができます。
[ルート編集]	ルートの編集をします。目的地、経由地の追加や条件の変更などができます。 ➡ 現在のルートを編集する (P.49)
[ガイド音声]	ルートガイドの音声と画像詳細([都市内高速入口ビュー]、[一般道の方面看板表示]、[通過交差点の情報表示]など)の設定をします。
[現在のルートを登録]	現在設定しているルートを登録します。 経由地を含むルート設定をしているときのみタッチできます。ルートの登録は地点や探索条件のみが登録されるため、前回と異なるルートを表示することがあります。
[地図スクロール]	地図を動かしてルートを確認できます。
[ルートシミュレーション]	実際に走行した場合のシミュレーションを画面に表示します。 [Ⅱ][▶][■]で一時的停止や再生など、[🔄][🔄]で再生速度の変更ができます。

ナビゲーション設定メニュー

＜メニュー＞ボタンまたは＜現在地＞ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション] をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[地図表示設定]	地図表示を設定します。 🔄 地図表示の設定 (P.38)
[ガイド音声]	ルートガイドの音声と画像詳細([都市内高速入口ビュー]、[一般道の方面看板表示]、[通過交差点の情報表示]など)の設定をします。
[ルート探索条件]	さまざまな条件でルート探索ができます。
[交通情報・VICSの設定]	VICS情報の各種設定をします。 🔄 VICSの設定をする (P.58)
[セーフティガイドの設定]	セーフティガイドの各種設定をします。 🔄 セーフティガイドを設定する (P.56)
[登録地点から]	登録地、登録ルート、回避エリアなどの編集や消去ができます。[登録ルート]をタッチすると登録ルートの名称変更・入れ替え・消去ができます。
[施設ジャンル設定]	施設ジャンル一覧に表示される施設ジャンル項目を設定できます。 🔄 施設ジャンル一覧 (P.42)
[現在地修正]	現在地の位置を修正できます。
[登録情報の消去]	登録情報を項目に応じて削除できます。
[目的地履歴の消去]	目的地履歴を項目に応じて消去できます。一度消去した履歴は復帰することができません。
[目的地提案設定]	過去の目的地設定の傾向を考慮し、起動時に設定する目的地を提案する機能をON/OFF設定します。目的地提案情報の消去もできます。
[設定を初期状態に戻す]	ナビゲーションの設定を初期状態に戻します。 登録した場所やルートなどは、初期状態に戻しても消去されません。

知識

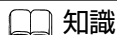
- ナビゲーションシステムは、車の情報(車速・ジャイロセンサー)と人工衛星の情報(GPS)を組み合わせることで自車の現在地を計算し、地図上に表示することで、目的地までのルート案内をしています。
- 現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示になります。しばらく走行を続けても表示が戻らない場合は、自転車位置を修正してください。

登録地を編集する

登録地、自宅または職場は、名前の変更や電話番号の入力などの編集ができます。

1. <メニュー>ボタンまたは<現在地>ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション]→[登録地点から]をタッチ
2. [自宅]、[職場]または[登録地]から編集したい登録地をタッチ
3. [編集]をタッチし、編集後、[決定]をタッチ

編集できる項目	機能・操作説明
[地図表示]	地図上に登録地アイコンを表示または非表示にします。
[名称]	登録した施設などの名称を変更します。登録地を選んだときのみ設定できます。
[ボイスタグ]	音声操作で使用するための読みを登録します。登録地を選んだときのみ設定できます。
[アイコン]	地図上に表示する登録地アイコンを選んで、変更します。
[アラーム音]	登録地に近づいたときにアラーム音を鳴らす設定をします。
[アラーム方向]	どの方向から登録地に近づくアラーム音が鳴るかを設定します。 アラーム方向を未登録のときは、どの方向から近づいてもアラーム音が鳴ります。 アラーム方向がすでに設定されているときにアラーム方向を選ぶと、設定を解除できます。
[アラーム距離]	どのくらい登録地に近づいたらアラーム音が鳴るかを設定します。
[電話番号]	登録した場所の電話番号を入力できます。
[グループ]	登録した場所をグループ分けすることで、登録地リストの並び替えに利用できます。登録地を選んだときのみ設定できます。
[登録番号]	登録番号を設定します。登録地を選んだときのみ設定できます。



知識

- [位置を修正]をタッチすると位置の修正ができます。
- [消去]をタッチすると登録地を消去することができます。

回避エリアの登録と編集

通行止めや渋滞が多いなど、走行するのを避けたいエリアをあらかじめ登録できます。登録した回避エリアは、名前やサイズを変えるなどの編集ができます。

回避エリアを登録する

＜メニュー＞ボタンまたは＜現在地＞ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション]→[登録地点から]→[回避エリア]→[新規登録]をタッチして、場所を検索
[決定]をタッチすると回避エリアが登録されます。

回避エリアを編集する

＜メニュー＞ボタンまたは＜現在地＞ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション]→[登録地点から]→[回避エリア]をタッチ
編集したい回避エリアを選びます。

項目	機能・操作説明
[名称変更]	登録した回避エリアの名称を変更できます。
[位置を修正]	回避エリアの位置を修正します。
[エリアサイズ変更]	回避エリアのサイズを変更します。
[有料道回避]	回避エリア内を通る有料道路を使用するか設定します。[ON]が点灯しているときは有料道路も回避します。
[消去]	回避エリアを消去します。
[決定]	編集を完了します。

セーフティガイドを設定する

ガイドしないことや、ガイド内容が実際の状況と異なることがあります。常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。

＜メニュー＞ボタンまたは＜現在地＞ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション]→[セーフティガイドの設定]をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[踏み切りガイド]	踏み切りに近づいたとき、音声と踏み切りのマーク表示で案内します。 表示のタイミングを設定できます。
[合流ガイド]	高速道路で合流地点に近づいたときに、音声と合流のマーク表示で案内します。
[スクールゾーン警告機能]	小学校に近づいたときに、速度、ブレーキ、アクセルの状態に応じて音声と学校のマーク表示で案内します。
[あいさつ・日付]	日付や時間帯に応じたあいさつを表示します。
[安全運転メッセージ]	安全に関するメッセージを表示します。
[高速道路での逆走報知]	高速道路で逆走してしまったときに、音声と警告のマーク表示で案内します。
[一方通行表示]	地図上に一方通行マークの表示をします。

高速道路での逆走報知の例外について

以下のような場合、報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。

- 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近で逆走したとき。
- 周囲に分岐・合流のない本線道路上でUターンしたとき。
- ダッシュボードの上に物を置いている、またはトンネル、高架橋下や高層ビル群地帯にいるなど、GPS信号が正しく受信できないとき。
- 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できないとき。
- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行しているとき。

注意

- 高速道路での逆走報知機能は、状況によって報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は、安全を確保したうえで高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

VICSについて

本機ではVICSで提供された最新の情報を地図上に重ねて表示したり、文字や道路図などの形で画面に表示できます。

また、ルート探索機能と連動させてスムーズに通れそうなルートを探索できます。

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数、FM多重放送の定例放送休止日などの詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL: <https://www.vics.or.jp/>

アドバイス

- VICSから提供される情報は参考情報であり、情報の収集、伝達処理などにより提供された情報が実際の状況と異なることがあります。

知識

VICS(Vehicle Information and Communication System)

- 事故や渋滞情報などをリアルタイムに提供する情報システムです。

VICS情報を受信するには

本機では、VICS FM多重情報が受信でき、VICS WIDEにも対応しています。



VICSは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

交通情報表示

VICS交通情報 () 表示色	交通状況
赤	渋滞
橙	混雑
緑	順調

VICS FM多重情報を見る

FM多重放送から受信したVICS情報を表示します。

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[VICS情報]をタッチ表示させたい情報を選びます。

項目	機能・操作説明
[VICS FM多重情報]	渋滞情報を簡易図形、文字情報、現在地に近い区間からの所要時間情報、または緊急情報で表示します。またVICS WIDE対応により、これまでの気象・津波情報に火山噴火を加えたすべての特別警報(地震を除く)をポップアップで表示したり、大雨のエリアを表示したりできます。

アドバイス

- 緊急情報は受信すると自動的に表示されます。
- FM多重のオートチューニングは受信状態の良い放送局を受信します。このため必ずしも現在位置付近の情報が表示されるとは限りません。
- FM多重は、FMの音声がステレオ受信可能であっても、情報が受信できないことがあります。
- FM多重の一般放送を受信させた場合には、その後VICS情報(FM多重)の表示に時間がかかる場合があります。

VICSの設定をする

VICSの各種機能を設定します。

＜メニュー＞ボタンまたは ＜現在地＞ボタンを押し、[設定]→[ナビゲーション]→[交通情報・VICSの設定]をタッチ

表示項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[VICS表示の対象道路]	VICS表示の対象道路を選択します。 選択した道路上の交通情報、SA/PA、駐車場などを表示します。
[VICS表示設定]	地図上で表示するVICS情報を選択します。
[FM多重情報の受信地域選択]	FM多重情報の受信地域を選択します。
[交通情報のダウンロード設定]	交通情報のダウンロードについて設定します。 [行き先設定時にダウンロード]、[ダウンロード時間の間隔] を設定できます。
[ETC2.0受信音設定]	ETC2.0車載器が情報を受信したときお知らせする受信音のON/OFFを設定します。
[ETC2.0音声自動再生設定]	ETC2.0車載器が受信した音声の自動再生のON/OFFを設定します。
[ETC2.0プローブ情報設定]	ETC2.0搭載車のプローブ情報の送信のON/OFFを設定します。

知識

- 地図情報提供の対象外になっている道路や、情報提供の対象であっても情報が提供されていないか、不明と送信されている道路の情報は表示されません。

プローブ情報とは

- プローブ情報とは車両の走行情報のことをいいます。
- プローブ交通情報はすべての地域およびすべての道路で表示されるわけではありません。
- [プローブ情報の送信]のON/OFFはMIT-SUBISHI CONNECT 入会の有無にかかわらず可能です。

ETC®の各機能を確認・設定する

ETCの利用履歴やセットアップ情報の表示、各機能の設定などを行うことができます。
ETC情報は車種によっては表示されません。

確認・設定のしかた

＜メニュー＞ボタンを押し、[情報]→[ETC 2.0情報]をタッチ

[VICS情報]		VICS情報を表示します。
[ETC利用履歴]		利用日時や料金の利用状況を確認できます。
[ETC利用積算額]		ETCの利用積算額とその積算期間の表示や、初期化ができます。
[カード忘れの警告 設定]	[カード抜き忘れ警告]	カードの入れ忘れや抜き忘れの警告のON/OFFを設定できます。
	[カード入れ忘れ警告]	
	[ルート探索時カード忘れ警告]	
[セットアップ情報]		ETCユニットのセットアップ時に必要な情報を表示します。
[ETC音声ガイド]		ETCシステムを利用するとき、音声ガイドを行うか設定できます。
[アイコン表示]		ETCの利用準備が整っていることを表示するか設定できます。

知識

- ETCユニットがセットアップ(ETCユニットを利用可能にする手続き)されていない場合は、情報が表示されないものや動作しないものがあります。
- ETC利用履歴は、最新20件までの利用状況を日時の新しい順に表示します。
- ETC利用積算額は、あくまでも目安として活用してください。

オーディオ・テレビの基本操作

オーディオの設定	P.62
オーディオについて	P.62
アンテナについて★	P.62
オーディオ画面を表示する	P.62

ラジオを使う

ラジオをきく	P.63
交通情報をきく	P.63

USB・iPod・Bluetooth®オーディオ・HDMI★を使う

USBメモリ・iPod・Bluetooth®オーディオを使う	P.64
USBについて	P.67
iPodについて	P.68
Bluetooth®オーディオについて	P.68
HDMI接続機器を使う★	P.69

テレビを見る★

テレビを見る	P.71
テレビの設定をする	P.74

オーディオの設定

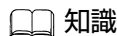
設定項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

＜メニュー＞ボタンまたは＜AUDIO・TV＞ボタンを押し、[設定]→[サウンド]をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明	除く、BOSE プレミアムサ ウンドシステ ム	BOSEプレ ミアムサウ ンドシステ ム
Bass	[-] または [+] をタッチして低音域を調整します。	○	○
Middle	[-] または [+] をタッチして中音域を調整します。	○	—
Treble	[-] または [+] をタッチして高音域を調整します。	○	○
Balance	[L] または [R] をタッチして左右の音量バランスを調整します。	○	○
Fader	[R] または [F] をタッチして前後の音量バランスを調整します。	○	○
Bass enhancer	Bass enhancerのON/OFFを設定します。 ※低音域を増強する機能です。	○	—
車速連動音量	[-] または [+] をタッチして効果幅を設定します。 ※車の速度とともに大きくなる騒音で、音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。	○	○

- BOSEは、米国ボーズ コーポレーションの商標です。



知識

- ＜TUNE SCROLL / PUSH SOUND＞ダイヤルを押してもサウンドの設定ができます。押すごとに設定項目が切り替わり、回すと調整できます。

オーディオについて

- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はオーディオソフト（USBメモリなど）を取り外し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。

アンテナについて★

テレビ用のアンテナ線はリヤサイドウィンドウガラスの内側にあります。

- アンテナ線部にミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けしないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽く拭いてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

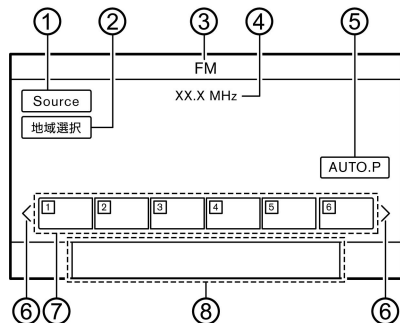
オーディオ画面を表示する

＜オーディオ＞ボタンを押して、オーディオ画面を表示します。

ラジオをきく

オーディオソースバーまたはSourceメニューで[AM]または[FM]をタッチして、ラジオ操作画面を表示させます。

操作画面の見かた



① [Source]

Sourceメニューを表示します。
オーディオソースバーに表示されていないソースもSourceメニューから選ぶことができます。Sourceメニュー画面の[オーディオソースバーの編集]をタッチして、オーディオソースバーの編集をすることもできます。

② [地域選択]

ラジオの受信地域を選択します。
[オート]をONにすると自動的に地域選択します。

③ 現在のオーディオモード

FM、FM AUTO.P、AM、AM AUTO.Pのいずれかを表示します。

④ 周波数、放送局表示

現在受信中のラジオの周波数/放送局を表示します。

⑤ [AUTO.P]

AUTO.P画面との切り替えをします。
長押しすると、現在地で受信可能な放送局を自動的に取得(オートプリセット)します。
FM AUTO.Pに12局、AM AUTO.Pに6局、最大18局まで自動的に登録されます。

⑥ [◀ / ▶]

プリセット番号1～6と7～12表示を切り替えます。

⑦ プリセットリスト

登録した放送局/周波数を表示します。
番号を押し続けると、現在選択している放送局をFM12局、AM6局まで登録できます。

⑧ オーディオソースバー

オーディオソースを切り替えます。

知識

- オートプリセットをしても受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。

放送局を選ぶ

■ 登録済みの放送局から選ぶ(プリセット選局)

ラジオ操作画面のプリセットリストから選択します。

■ 自動で選局する

<◀▶>/<▶▶>ボタンを押すと、自動的に感度の良いチャンネルを受信して表示します。

知識

- ステアリングスイッチの<◀▶>/<▶▶>ボタンを長押ししても、選局ができます。

■ 手動で1ステップずつ選局する

<TUNE SCROLL / PUSH SOUND>ダイヤルを回すと、1ステップずつ周波数が変わります。

交通情報をきく

<・||) >ボタンを押す

オーディオソースバーまたはSourceメニュー画面で[交通情報]をタッチしても交通情報を選ぶことができます。

USBメモリ・iPod・Bluetooth®オーディオを使う

再生する

USBメモリ、iPod、Bluetooth®を接続し、オーディオソースバーまたはSourceメニュー画面で該当のアイコンをタッチ

Bluetooth®オーディオはご使用前に機器の登録と接続が必要です。

🔍 機器接続画面の見かた (P.13)

各種接続機器を取り外すときは、再生を停止してから取り外してください。

🔍 USBポート (P.9)

警告

- 接続するオーディオ機器のUSBケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

注意

- 本体に接続するオーディオ機器、電話機または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

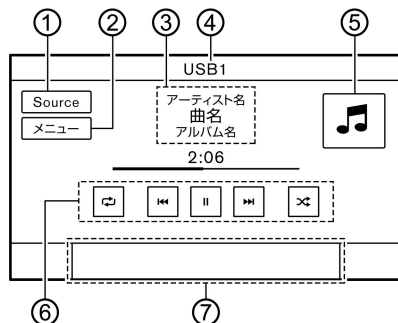
アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、USBメモリ本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- 走行中にiPodやUSBメモリなどのプラグの抜き差しをしないでください。接続口および接続メディア本体の破損につながる可能性があります。
- iPodやUSBメモリなどを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたるとおそれのある場所にiPodやUSBメモリなどを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- iPodやUSBの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となりますので接続、挿入しないでください。
- iPodの機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできません。
- 接続するケーブルが邪魔にならないように整理してください。手や足などにケーブルが引っ掛かり、断線や破損のおそれがあります。

知識

- ケーブルは、装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。
- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 曲を選ばないまま2秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。
- 接続するiPodの取扱説明書もあわせてお読みください。
- Bluetooth®の接続設定がOFFになっていると、Bluetooth®オーディオは接続されません。
🔍 登録機器の設定 (携帯電話) (P.15)
- ハンズフリーフォンとして登録された携帯電話のオーディオを使用する場合、携帯電話機で使用するサービスを選択する必要があります。詳しくは携帯電話機の操作手順書を参照ください。
- 使用するBluetooth®オーディオ機器によって、一部の操作メニューが使用できないことがあります。

操作画面の見かた



① [Source]

Sourceメニューを表示します。
オーディオソースバーに表示されていない
ソースもSourceメニューから選ぶことが
できます。Sourceメニュー画面の[オーディオ
ソースバーの編集]をタッチして、オーディオ
ソースバーの編集をすることもできます。

② [メニュー]

メニュー画面を表示します。

🔊 **メニュー画面の見かた (P.66)**

③ 楽曲情報表示

フォルダ名、ファイル名、再生時間などを表
示します。曲名を取得していない場合は、
ファイル名を表示します。

④ 接続デバイス名

接続しているデバイス名を表示します。

⑤ アルバムアートワーク

アルバムアートワークを表示します。 接続
するデバイスやデータによってアルバム
アートワークが表示されない場合がありま

す。

⑥ オーディオ操作キー

タッチしてプレイモードの変更や曲送りをし
ます。

[🔄]: 曲のリピート再生の選択ができま
す。

タッチするごとにall(すべての曲)→Track
(現在の曲)→解除に切り替えます。

[▶▶]: 短押しで次の曲に送ります。

[◀◀]: 短押しで前の曲にまたは曲頭出し
します。

[▶▶]: 長押しで曲を早送りします。

[◀◀]: 長押しで曲を巻き戻しします。

[▶ / ||]: 再生/ポーズを切り替えま
す。

[🔀]: 曲のランダム再生 のON/OFFを切
り替えます。

⑦ オーディオソースバー

オーディオソースを切り替えます。

📖 知識

- 楽曲情報は、MP3ファイルはID3タグ、WMAファイルはWMAタグを参照してい
ます。楽曲情報が文字化けするときは
ID3タグ、WMAタグを修正してください。
- 曲のリピート再生の選択でall(すべての
曲)が選択できるのはメニュー画面の
[フォルダリスト]を選択したときです。
- 接続するデバイスまたは再生したデータ
によってはアルバムアートワークを表示
しない場合があります。

- 接続するデバイスによっては[メニュー]で
はなく[機器接続]が表示されることがあ
ります。
- 使用可能な機能およびスイッチ操作、画
面操作キーはモデル、仕様、ソフトウェ
アバージョンおよび条件によって異なり
ます。

メニュー画面の見かた

1. <オーディオ>ボタンを押し、[Source]→[USB1]/[iPod1]、[USB2]/[iPod2]または[Bluetoothオーディオ]をタッチ
再生したいメディアを選択します。
2. [メニュー]をタッチ
設定項目を選びます。

表示される項目は選択しているオーディオソース、接続機器、車種、仕様、ソフトウェアバージョンなどによって異なります。

項目	機能・操作説明
[再生中]	操作画面を表示します。
[フォルダリスト]/[現在のリスト]	現在再生中のフォルダリスト、曲リストを表示します。
[ジャケット表示]	ジャケット写真の表示/非表示を切り替えます。
[機器接続]	Bluetooth®機器接続画面を表示します。接続されている接続機器の[🔊]をタッチするとBluetooth®機器が切り替ります。
選曲リスト	リストから再生したい曲を選びます。

USBについて

再生可能メディア

メディア	USB2.0 (32GB以内)
システム	FAT16、FAT32
フォルダ階層、ファイル数	フォルダ階層: 8、フォルダごとのファイル数: 255、フォルダ数: 512 (ルートフォルダを含む)、総ファイル: 8,000
タグ情報(曲名、アーティスト名、アルバム名)	ID3 tag VER1.0、VER1.1、VER2.2、VER2.3、VER2.4 (MP3 のみ)
	WMA tag (WMA のみ)
	AAC tag (AAC のみ)

フォーマット			サンプリング周波数	ビットレート
MP3 *1	MPEG1	Layer-3	32、44.1、48 kHz	32～320 kbps
	MPEG2		16、22.05、24 kHz	8～160 kbps
WMA *2			8、11.025、16、22.05、32、44.1、48 kHz	12～192 kbps
AAC (MPEG4) *3 (ファイル拡張子 “m4a” のみ)			11.025、16、22.05、32、44.1、48 kHz	8～320 kbps
FLAC			8～192 kHz	128～12,288 kbps
Wav			8～192 kHz	128～12,288 kbps

*1 MPEG2.5 には対応していません。

*2 WMA7、WMA8、WMA9、WMA9.1、WMA9.2 に対応しています。(WMA9 Professional、Lossless、Voice には対応していません。)

*3 iTunes でエンコードしたAACのみ再生可能です。HE-AAC (High-Efficiency) には対応していません。

知識

- 複数のパーティションに分かれているUSB機器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- 条件に当てはまらないUSBメモリを使用すると、正しく動作しないことがあります。

iPodについて

お使いのiPod を本機に接続して音楽をきくことができます。iPod は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Bluetooth®オーディオについて

- Bluetooth®オーディオ機器は、機種により対応していない場合があります。また、対応している機種でも一部の機能が使用できない場合があります。
- 以下のときはBluetooth®オーディオの再生は一時停止します。下記動作が終了すると、Bluetooth®オーディオの再生を再開します。
 - ー MITSUBISHI CONNECT によるデータダウンロード中(手動または自動)
 - ー 交通情報の受信
 - ー ハンズフリー通話中
 - ー 携帯電話の接続確認中
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されているため、Bluetooth®オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。

- Bluetooth®接続を行うと、通常よりBluetooth®オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth®AVプロファイル(A2DP、AVRCP)に対応しています。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Robert Bosch GmbHはライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

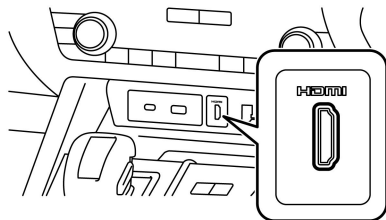
HDMI接続機器を使う★

HDMI端子にポータブルブルーレイ/DVDプレイヤーなどの機器を接続することで、映像や音声を視聴できます。

再生する

ポータブルブルーレイ/DVDプレイヤーなどの機器の解像度設定を、480pに設定して接続することにより、映像をお楽しみいただけます。ご利用いただく機器での設定変更の方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご確認ください。

ポータブルブルーレイ/DVDプレイヤーなどの機器を、インストルメントパネルのHDMI端子に接続します。



＜オーディオ＞ボタンを押して、[Source]→[HDMI]をタッチ

接続しているHDMI機器から再生操作を行うことで映像や音声を視聴できます。

映像表示中に画面にタッチすると操作画面が表示され、オーディオソースパーからオーディオソースを切り替えられます。

接続しているHDMI機器を取り外すときは、再生を停止してから取り外してください。

🚗 アドバイス

- 安全のため、走行中は映像は映らず、音声のみ聞くことができます。車を完全に停車し、電動パーキングブレーキをかけたときのみ、映像をご覧になることができます。電動パーキングブレーキをかけず、ブレーキオートホールド機能などで停車しているときは、映像は映りません。
- HDMI機器またはHDMIケーブルの抜き差しはコネクタ付近を持って行ってください。HDMI機器やコネクタの破損につながるおそれがあります。
- HDMI端子や、HDMI機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。

📖 知識

- 接続するHDMI機器の特性により、映像/音声正常に出力されない場合がありますが、本機の異常ではありません。

画質を調整する

映像表示中に画面にタッチすると操作画面が表示され、[メニュー]をタッチすると明るさ、コントラスト、黒レベルを調整できます。

HDMIについて

■ ライセンス

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

■ 接続仕様

- ご利用いただける機器
HDMI 1.4bに準拠し、480pでの映像出力に対応しているポータブルブルーレイ/DVDプレーヤーなど
- ご利用いただけるケーブル
HDMI 1.4 (High speed/最大転送速度 10.8 Gbps)に対応しているケーブル

テレビを見る

テレビ画面を表示する

＜オーディオ＞ボタンを押して、[Source]→[TV1 自宅エリア]または[TV2 おでかけエリア]をタッチ

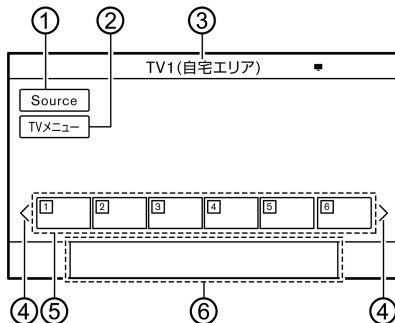
TV1(自宅エリア)またはTV2(おでかけエリア)画面を表示します。

知識

- 安全のため走行中に地上デジタルテレビ画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、音声のみとなります。
- デジタル放送では受信状態が悪いと、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出ないことがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用にくらべて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

操作画面の見かた

テレビ表示中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。



① [Source]

Sourceメニューを表示します。
オーディオソースバーに表示されていないソースもSourceメニューから選ぶことができます。Sourceメニュー画面の[オーディオソースバーの編集]をタッチして、オーディオソースバーの編集をすることもできます。

② [TVメニュー]

TVメニュー画面を表示します。
➡ TVメニュー画面の見かた (P.72)

③ 現在のテレビモード

「TV1 (自宅エリア)」または「TV2 (おでかけエリア)」のどちらかを表示します。

④ [◀/▶]

チャンネルリスト1～6と7～12を切り替えます。

⑤ チャンネルリスト

プリセットリストに登録されたチャンネルが表示されます。
放送局名がない場合は、3桁のチャンネル番号を表示します。

⑥ オーディオソースバー

オーディオソースを切り替えます。

TVメニュー画面の見かた

1. <オーディオ>ボタンを押し、[Source]→[TV1 自宅エリア]または[TV2 おでかけエリア]をタッチ
TV操作画面を表示します。
2. [TVメニュー]をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[放送局サーチ]	走行エリア付近の放送局を自動的に探します。 地上デジタル放送では、走行エリアによっては同一放送局であってもチャンネルが異なる場合があります。
[番組表]	番組表を表示します。
[番組内容]	番組の詳しい内容を表示します。 ワンセグ受信中は番組内容やデータ放送の使用はできません。
[データ放送操作キー呼出]	データ放送の操作キーを表示します。
[画質調節]	画質調節画面を表示します。 明るさ、コントラスト、黒レベルを調整します。
[設定]	地デジ設定画面を表示します。  テレビの設定をする (P.74)

■ 緊急警報放送（EWS）について

- 大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
- 本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送を表示します。
緊急警報放送終了後、90秒で自動的に元に戻ります。

■ アイコン一覧

地上デジタルテレビ画面ではアイコンによって、表示画面の情報をお知らせします。

アイコンは番組内容の表示であり、「デジタル1COPY」など本機の機能と関連のないものもあります。

放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

記号	記号の意味	記号	記号の意味	記号	記号の意味
	テレビ放送(映像+音声)の番組。		データ放送の番組。		1セグ放送の番組。
	地上デジタル放送の番組。		番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。		番組とは別のデータ放送を行っている番組。
	モノラル音声の番組。		2カ国語放送の番組。		ステレオ放送の番組。
	デジタル出力していない番組。		アナログ出力していない番組。		デジタルコピーガードが、かかっている番組。(デジタルで録画できません)
	アナログコピーガードが、かかっている番組。(アナログで録画できません)		1回のみデジタルコピーが可能な番組。(録画後、ダビングできません)		番組の中に字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組。
	ワイド画面の通常放送の番組。		ワイド画面のハイビジョン放送の番組。		ノーマル画面のハイビジョン放送の番組。
	ノーマル画面の通常放送の番組。		1セグ/地デジ切替の設定が自動。		
	緊急警報放送(EWS)。		臨時放送。		

テレビの設定をする

＜オーディオ＞ボタンを押し、[Source]→[TV1 自宅エリア]または[TV2 おでかけエリア] → [TVメニュー]→[設定]をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明	
[オートプリセット]	現在地で受信可能な放送局を自動的に取得します。 TV1(自宅エリア)、TV2(おでかけエリア)に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。	
[主・副]	主音声、副音声、主/副音声を切り替えます。	
[音声切替]	地デジ時: 第一音声～第十六音声に切り替えます。 1セグ時: 第一音声～第二音声に切り替えます。	
[字幕]	非表示/第一言語/第二言語から字幕を切り替えます。	
[自宅エリア、郵便番号設定(TV1)]	自宅エリア(TV1)の地域を郵便番号から設定します。	
[おでかけエリア、郵便番号設定(TV2)]	おでかけエリア(TV2)の地域を郵便番号から設定します。	
[ワンセグ/地デジ切替]	自動/地デジ固定/ワンセグ固定を切り替えます。	
[イベントリレー]	ON/OFFを切り替えます。ONにすると、番組のチャンネルが移行する場合、自動でチャンネルを切り替えることにより、継続して視聴できます。	
[チャンネル番号入力]	チャンネル番号を直接入力します。	
[自動放送局サーチ]	OFF、中継局、中継局+系列局を切り替えます。	
[デバイスID表示]	デバイスIDを表示します。	
[設定情報初期化]	[自宅エリア設定消去(TV1)]	自宅エリアの設定を消去します。
	[おでかけエリア設定消去(TV2)]	おでかけエリアの設定を消去します。
	[各種設定項目の初期化]	音声、字幕などの各種設定を初期化します。
	[全データの消去・初期化]	全データを消去し、設定を初期状態にします。

ハンズフリーフォンの基本操作

携帯電話の接続	P.76
ハンズフリーフォンの各部の名称と機能	P.76
ハンズフリーフォンの操作画面	P.77

通話機能を使う

電話をかける	P.78
電話を受ける	P.78
通話中の操作	P.79

ショートメッセージ(SMS)機能を使う

SMSを受信する	P.80
SMSを送る	P.80

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの設定画面	P.81
短縮ダイヤルの登録、編集	P.82

Apple CarPlay

Apple CarPlayを使う	P.83
------------------	------

Android Auto™

Android Auto™を使う	P.85
------------------	------

携帯電話の接続

ご使用前に、お客さまの携帯電話が本機でご利用可能かどうかをご確認ください。適応するBluetooth®携帯電話は『アウトランダー』および『トライトン』車種サイトからご確認くださいませ。

ご使用する前に

ハンズフリーフォンを使用するには、本機のBluetooth®接続をONにする必要があります。

🔍 登録機器の設定 (携帯電話) (P.15)

電話機を接続(登録)する

<メニュー>ボタンを押し、[機器接続]→[登録機器]→[登録]をタッチ

Bluetooth®機器を本機に登録します。

🔍 登録機器画面について (P.13)

電話機を複数登録した場合は、機器接続画面で[📱]をタッチして使用する携帯電話を選びます。

知識

- 携帯電話機側の詳しい操作方は、携帯電話の操作手順書を参照ください。
- [マルチ接続]をONにしているとハンズフリーフォンを2台まで使用できます。
🔍 登録機器の設定 (携帯電話) (P.15)

音量を調整する

<メニュー>ボタン→[設定]→[音量調節]をタッチ

着信音量または送話音量を調整します。

🔍 音量を調整する (P.19)

知識

- 着信音量/受話音量は、着信中/通話中にコントロールパネルの<VOL/🔊>ダイヤルまたはステアリングスイッチの<+ 🔊 ->ボタンで調整することもできます。
- 送話音量は、通話中のみ変更可能です。

ハンズフリーフォンの各部の名称と機能

ハンズフリーフォンの操作は、タッチパネルまたはステアリングスイッチで行います。通話は専用マイクで行います。

🔍 各部の名称と機能 (P.8)

マイク

通話は専用マイクで行います。

ハンズフリーフォンを使うときは、マイクに近づいたり、意識的にマイクの方に向いたりせず、安全に運転できる姿勢で通話をしてください。

マイクはマップランプの近くにあります。

マップランプの位置については車両取扱説明書をお読みください。

ハンズフリーフォンの操作画面

＜メニュー＞ボタンを押して[電話]をタッチ、またはステアリングスイッチの<📞>ボタンを押す
電話メニュー画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[お気に入り]	登録した短縮ダイヤルを選び通話ができます。
[ハンズフリー電話帳]	電話帳画面を表示します。 [📞]をタッチすると50音、アルファベットを切り替えます。
[発着信履歴]	発着信履歴画面を表示します。 マルチ接続しているときは、発着信履歴一覧の上部に表示しているデバイス名をタッチすると切り替えられます。
[ダイヤル入力]	ダイヤル入力画面を表示します。
[メッセージ]	ショートメッセージ(SMS)画面を表示します。 📩 ショートメッセージ(SMS)機能を使う (P.80)
[機器接続]	登録機器画面を表示します。Bluetooth®機器の登録、編集、切替ができます。 📶 登録機器画面について (P.13)
[音量調節]	音量調節画面を表示します。 🔊 音量を調整する (P.19)

知識

- アンテナ表示、バッテリー表示は携帯電話の表示と一致しない場合があります。

電話をかける

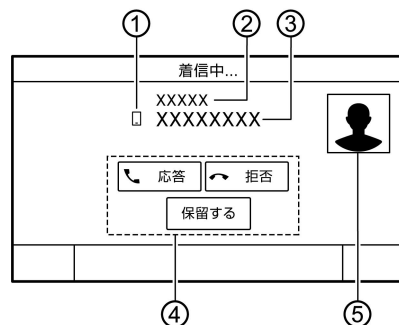
短縮ダイヤルやハンズフリー電話帳など、お好みの方法を使って電話をかけることができます。

➡ ハンズフリーフォンの操作画面 (P.77)

電話を受ける

電話がかかってくると、呼び出し音が鳴り、自動的に着信画面になります。

着信画面の見かた



- ① アイコン表示
登録したアイコン種別を表示します。
- ② 着信相手の名前
登録した名前を表示します。
- ③ 着信相手の電話番号
走行中は番号表示されません。

④ 着信メニュー

項目	機能・操作説明
[応答]	電話に出ます。
[拒否]	電話を拒否します。
[保留する]	電話を保留にします。

⑤ 画像表示

電話帳に登録されている画像を表示します。

知識

- 着信応答画面には、ハンズフリー電話帳に着信相手の電話番号が登録されている場合、アイコン種別と相手の名前を表示します。
- 接続する携帯電話によっては画像または一部の項目が表示されない場合があります。

電話に出る

ステアリングスイッチの <📞> ボタン を押すか、着信画面の[応答] をタッチ
通話ができます。

ステアリングスイッチの <📞> ボタンを押すか[終話] をタッチ
終話ができます。

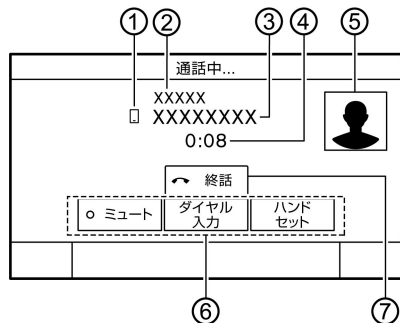
知識

- 音量は、コントロールパネルの <VOL/🔊> ダイヤルまたは ステアリングスイッチの <+ 🔊 -> ボタンで調整します。
- Bluetooth®接続時に電話機本体で電話を受けた場合、電話の機種によりハンズフリー通話にならない場合があります。
- [マルチ接続]がONのときは、2台の電話機が同時に接続できます。1台が通話中に、もう1台に着信があった場合は、ポップアップメッセージが表示されます。電話に出る場合は[応答]を、出ない場合は[拒否]をタッチします。

通話中の操作

通話中にいろいろな操作ができます。

通話中画面の見かた



- ① アイコン表示
登録したアイコン種別を表示します。
- ② 通話相手の名前
ハンズフリー電話帳に登録した名前を表示します。ハンズフリー電話帳に登録されていない場合は電話番号が表示されます。
- ③ 通話相手の電話番号
通話相手の電話番号を表示します。
- ④ 通話時間表示
通話時間が表示されます。
- ⑤ 画像表示
登録した画像を表示します。
- ⑥ 通話中メニュー
通話中メニューの項目を表示します。

項目	機能・操作説明
[ミュート]	通話中の相手に声が聞こえないようにします。ミュート中はインジケーターが点灯します。
[ダイヤル入力]	通話中の番号入力に使用します。入力画面から通話中画面に戻るには[↩]をタッチします。
[ハンドセット]	ハンズフリー通話のとき、携帯電話本体での通話に切り替えます。再びハンズフリー通話に戻るには、ステアリングスイッチの<📶>ボタンを押し、[ハンドセット]をタッチします。
[通話の切替]	通話中にかかってきた電話を受話します。[通話の切替]をタッチすると通話中の電話が保留になり、もう一度タッチすると保留が解除されます。
[保留]	電話を保留にします。

- ⑦ **【終話】**
電話を切ります。

知識

- ハンズフリー電話帳に通話相手の電話番号が登録されている場合は、通話中にアイコン種別と相手の名前が表示されます。
- 接続する携帯電話によっては画像または一部の項目が表示されないことがあります。
- コントロールパネルのスイッチを押すと該当の画面を表示します。ステアリングスイッチの<📶>ボタンを押すと再び電話画面を表示します。
- ハンドセット切り替えは、携帯電話本体で切り替えできる機種もあります。また、機種によって切り替えができないものもあります。
- エンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをOFFにしたあとも通話を続けたい場合は、あらかじめ携帯電話での通話に切り替えてください。

SMSを受信する

SMS受信時は、画面にメッセージ受信のポップアップを表示します。マルチ接続がONの時、どちらのデバイスでSMS機能を使うか選ぶことができます。

受信表示から見る

画面に表示される受信ポップアップの[読む]をタッチ
メッセージ画面を表示し、メッセージを読み上げます。

知識

- 差出人が電話帳に登録済みの場合、確認するSMSを選択すると差出人名称を読み上げます。
 - SMS機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。
 - iPhoneでSMS機能を使用するためには以下の操作が必要です。
 1. 本機にiPhoneをBluetooth® 接続します。
 2. Bluetooth® をOFFへ切り替えます。
 3. iPhoneのBluetooth® 設定でデバイス検索して、「Mitsubishi Motors」を選択し、通知設定をONへ切り替えます。
 4. Bluetooth® をONへ切り替え、iPhoneと再度接続してください。
- ➡ 登録機器の設定 (携帯電話) (P.15)

受信履歴から見る

ステアリングスイッチの< >ボタンを押し、
[メッセージ]をタッチ
受信メッセージ一覧から確認したいSMSを選ぶとメッセージ画面を表示し、メッセージを読み上げます。

メッセージ画面メニュー

項目	機能・操作説明
[前へ]	前のメッセージを表示します。
[次へ]	次のメッセージを表示します。
[再生]	メッセージを読み上げます。
[停止]	メッセージの読み上げを停止します。
[電話をかける]	送信元に直接電話をかけます。
[返信]	返信画面を表示します。[定型文]または[オリジナル(作文)]をタッチして送信するメッセージを選択します。

知識

- [マルチ接続]がONのとき、受信メッセージ一覧の上部に接続されているデバイス名が表示されます。選択しているデバイスのメッセージを操作することができます。
- 定型文を作成することもできます。
- 返信機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。

SMSを送る

SMSを送るときは、メッセージの定型文を登録しておく便利です。マルチ接続がONの時、どちらのデバイスでSMS機能を使うか選ぶことができます。

SMSを送信する

1. ステアリングスイッチの< >ボタンを押し、[メッセージ]をタッチ
2. [メッセージ作成] → [宛先] をタッチ
送信先を登録する方法を選んでタッチし、宛先を選びます。
3. [メッセージ選択]をタッチ
[定型文]から定型文を選ぶか[オリジナル(作文)]で文章を入力
4. [送信]をタッチ

知識

- 送信機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの設定画面

＜メニュー＞ボタンを押し、[設定]→[電話]をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[機器接続]	機器接続画面を表示します。 Bluetooth®接続のON/OFF、機器の切り替え、接続機器の消去などができます。 🔍 機器接続画面の見かた (P.13)
[お気に入り]	短縮ダイヤル設定画面を表示します。 🔍 短縮ダイヤルの登録、編集 (P.82)
[ハンズフリー電話帳]	[携帯メモリー一括ダウンロード] 選択すると、電話帳手動転送を行います。携帯電話の機種により、データの追加と上書きを選択できる場合があります。また、携帯電話側の操作が必要な場合もあります。
	[自動ダウンロード] ONにすると、携帯電話接続時に自動的に電話帳をダウンロードします。 自動ダウンロードができないときは、[携帯メモリー一括ダウンロード]で手動転送してください。
	[並べ替え] 苗字または名前でハンズフリー電話帳を並び替えます。
[メッセージ]	[メッセージ] SMS機能をON/OFFします。
	[メッセージ音] SMS受信時の着信音をON/OFFします。
	[署名] SMS送信時の署名のON/OFFを設定します。
	[自動返信] 自動返信をON/OFFします。
	[自動返信メッセージ] 自動返信時のメッセージを設定します。
	[オリジナル(作文)の編集] 送信時の定型文、オリジナル(作文)を編集します。[新規登録]をタッチすると、新規メッセージが作れます。SMS送信画面から作成することもできます。
[通知]	[メータに表示] ONにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのみに通知を表示します。
	[着信音] 車両のスピーカーから出る着信音をON/OFFします。
[自動応答保留]	ONにすると、着信があったときに自動的に保留にします。

ハンズフリーフォンの設定をする

アドバイス

マルチ接続時は[📞]が表示されタッチすると、携帯電話が選択できます。

短縮ダイヤルの登録、編集

<メニュー>ボタンを押し、[設定]→[電話]→[お気に入り] をタッチ

設定項目を選びます。

項目			機能・操作説明
[登録・編集]	[新規登録]	[発着信履歴から登録]	発着信履歴から登録します。
		[ハンズフリー電話帳から登録]	ハンズフリー電話帳から登録します。
		[入力して登録]	ダイヤルを入力して登録します。
	登録済みの短縮ダイヤル	[編集する]	[登録番号]、[名称]、[番号]、[種類]、[音声タグ/関係]を編集します。
		[消去する]	選択したダイヤルを消去します。
[一括消去]			登録してある短縮ダイヤルを一括で消去します。

Apple CarPlayを使う

Apple CarPlay対応のiPhoneを本機にケーブルまたはワイヤレス接続することでApple CarPlayを使用することができます。Apple CarPlay、iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhoneについて

Apple CarPlay対応のiPhoneについては、AppleのWebサイトでご確認ください。

- 動画、静止画表示には対応していません。
- iPhoneの動作については全てを保証するものではありません。
- iPhoneをご使用の際、オーディオブックの表示位置にオーディオブックが表示されない場合があります。
- iPhoneを接続しても操作ができない場合は、iPhoneを外して再度接続してください。
- iPhoneの接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- iPhone内のビデオファイルの再生はできません。

Apple CarPlayについて

- Apple CarPlayが起動している間は、接続しているiPhoneでのBluetooth®機能は使用できません。
- Apple CarPlayの詳細については、AppleのWebサイトをご確認ください。
- Apple CarPlayはAppleが提供するアプリ

ケーションです。各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

iPhoneを接続する

■ USB接続する

1. iPhoneをUSBポートに接続

🔌 USBポート (P.9)

2. Apple CarPlay起動時の確認メッセージが表示され、[はい]をタッチ

Apple CarPlayが起動します。

[いいえ]をタッチするとiPhoneをiPodとして接続できます。

[再表示しない]をタッチすると、起動時の確認メッセージを表示しません。

📖 知識

- iPhoneを接続するときは、iPhoneに付属のUSBケーブルまたはApple Inc. 純正品 (MFi認証有り) を使用してください。
- Wi-FiスポットとApple CarPlayを同時に使用される場合、ワイヤレス接続ではなくUSB接続で使用してください。

■ ワイヤレスで接続する

1. iPhoneをBluetooth®接続

🔌 機器接続画面の見かた (P.13)

2. Apple CarPlay起動時の確認メッセージが表示され、[はい]をタッチ

Apple CarPlayが起動します。

iPhoneに表示される通知でワイヤレス接続を選択すると、ワイヤレスでApple CarPlayがご利用いただけます。

📖 知識

- 本機の設定によって、iPhoneを接続してもApple CarPlay画面を表示しないことがあります。ランチャーメニューに[🔌]が表示されている場合は、タッチして、Apple CarPlay画面を表示させてください。ランチャーメニューに[🔌]が表示されない場合は、接続機器設定を変更することでApple CarPlay画面を表示することができます。
- 🔌 機器接続画面の見かた (P.13)
- 接続機器がApple CarPlayまたはAndroid Auto™に接続されていない場合は、ステアリングスイッチの<🔌>ボタンを長押しすると、接続画面が表示されます。
- ワイヤレス接続を選択しなかった場合、iPhoneはBluetooth®機器として接続されます。
- Wi-Fi設定画面でWi-FiがOFFの場合は、通知が表示されます。[はい]をタッチするとワイヤレスでApple CarPlayに接続ができます。
- 🔌 Wi-Fi画面について (P.16)

Apple CarPlay画面を表示する

Apple CarPlay対応のiPhoneをケーブルまたはワイヤレス接続しているときにApple CarPlay画面を表示できます。

<メニュー>ボタンを押し、**[⏮]**をタッチ

Apple CarPlay画面が表示されます。

表示されているiPhoneの機能を本機の画面上で使用できます。

知識

- Apple CarPlayでの動作が保証されているアプリケーションを使用してください。Apple CarPlayと互換性のないアプリケーションは正常に動作しない場合があります。
- **[⏮]**は本機にiPhoneが接続されているときのみ選択できます。
- 情報メニュー画面からもApple CarPlayを起動できます。
 情報メニューについて (P.12)

Siriの使いかた

Apple CarPlay使用中にSiriを使用できます。
ステアリングスイッチの<⏮>ボタンを長押し
 Siriが起動します。

Apple CarPlayの設定をする

1. **<メニュー>ボタン**を押し、**[機器接続]**→**[登録機器]**をタッチ
2. 設定したい機器の横にある**[i]**→**[スマートフォン接続設定]**をタッチ

設定項目を選びます。

項目		機能・操作説明
[起動オプション]	[確認無しで起動する]	iPhoneを接続したとき、自動でApple CarPlayを起動します。
	[常に確認する]	iPhoneを接続したとき、確認メッセージが表示されます。
	[起動しない]	iPhoneを接続してもApple CarPlayを起動しません。
[Apple CarPlay利用時の補足情報]		Apple CarPlay利用時の補足情報を表示します。

知識

- **<メニュー>ボタン**を押し**[設定]**→**[機器接続]**からでも同様の設定ができます。

Android Auto™を使う

Android Auto™対応のAndroidスマートフォンを本機に接続することでAndroid Auto™を使用することができます。AndroidおよびAndroid Auto™は、Google LLCの商標です。

Androidスマートフォンについて

Android Auto™を利用するには、Android 5.0 (Lollipop) 以降を搭載したAndroidスマートフォンが必要です。

- Androidスマートフォンで再生可能な動画、静止画表示には対応していません。
- Androidスマートフォンの動作については全てを保証するものではありません。
- Androidスマートフォンを接続しても操作ができない場合は、Androidスマートフォンを外して再度接続してください。

Android Auto™について

- Android Auto™が起動している間は、接続しているスマートフォンでのBluetooth®機能は使用できません。
- 詳細については、Google社のホームページ <https://www.android.com/auto/> をご覧ください。
- Android Auto™はGoogleが提供するアプリケーションです。各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Androidスマートフォンを接続する

1. AndroidスマートフォンをUSBポートに接続
 USBポート (P.9)
2. Android Auto™起動時の確認メッセージが表示され、[はい]をタッチ
 Android Auto™が起動します。

アドバイス

- Android Auto™をご利用になるには、Android Auto™のアプリケーションを接続するスマートフォンにダウンロードする必要があります。詳細についてはGoogle Play™のAndroid Auto™アプリページを参照してください。

知識

- Androidスマートフォンを接続するときには、Androidスマートフォンに付属のケーブルを使用してください。
- Androidスマートフォンがロック状態のときはAndroid Auto™が起動しない場合があります。
- 本機の設定によって、Androidスマートフォンを接続してもAndroid Auto™画面を表示しないことがあります。＜メニュー＞ボタンを押し、[▲]が表示されていたらタッチして、Android Auto™画面を表示させてください。メニュー画面に[▲]が表示されない場合は、接続機器設定を変更することでAndroid Auto™画面を表示することができます。

Android Auto™画面を表示する

Android Auto™対応のAndroidスマートフォンを接続しているときにAndroid Auto™画面を表示できます。

1. ＜メニュー＞ボタンを押し、[▲]をタッチ
 Android Auto™画面が表示されます。

2. アイコンをタッチ

表示されているAndroidスマートフォンの機能を本機の画面上で使用できます。

知識

- Android Auto™での動作が保証されているアプリケーションを使用してください。Android Auto™と互換性のないアプリケーションは正常に動作しない場合があります。
- [▲]は本機にAndroidスマートフォンが接続されているときのみ選択できます。
- 情報メニュー画面からもAndroid Auto™を起動できます。
 情報メニューについて (P.12)
- Android Auto™操作時、Android Auto™のトップメニューに戻るには[○]をタッチします。

Google アシスタント™の使いかた

Android Auto™使用中にGoogle アシスタント™を使用できます。

ステアリングスイッチの<>ボタンを長押しするか、Android Auto™画面上の[]をタッチ
起動音が鳴り、Google アシスタント™が起動します。

Android Auto™の設定をする

1. <メニュー>ボタンを押し、[機器接続]→[登録機器]をタッチ
2. 設定したい機器の横にある[]→[スマートフォン接続設定]をタッチ

設定項目を選びます。

項目		機能・操作説明
[起動オプション]	[確認無しで起動する]	Androidスマートフォンを接続したとき、自動でAndroid Auto™を起動します。
	[常に確認する]	Androidスマートフォンを接続したとき、確認メッセージが表示されます。
	[起動しない]	Androidスマートフォンを接続してもAndroid Auto™を起動しません。
[Android Auto利用時の補足情報]		Android Auto™利用時の補足情報を表示します。

MITSUBISHI CONNECT

MITSUBISHI CONNECT とは	P.88
MITSUBISHI CONNECT をお使いになる前に	P.91

MITSUBISHI CONNECT を使う

地図更新について	P.92
リモートエアコン(今すぐエアコン)	P.94
MITSUBISHI CONNECT メニュー	P.96

MITSUBISHI CONNECT を使いこなす

MITSUBISHI CONNECT を設定する	P.97
--------------------------	------

MITSUBISHI CONNECT とは

MITSUBISHI CONNECT とは、車両に搭載されているMITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」と情報センターが通信することで、車両コントロールアプリ(スマートフォンアプリ「My MITSUBISHI CONNECT」)やデータダウンロードなどの利用が可能になる便利なコネクテッドサービスのことです。

MITSUBISHI CONNECT

アドバイス

- サービスを提供するうえで必要となる情報(例えば、自車の位置情報や走行情報)はご利用時に情報センターへ自動的に送られます。
- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また本機に保存されている情報は消去してください。詳しくは、三菱自動車お客様相談センターにご相談ください。
- MITSUBISHI CONNECTの入会、退会方法は当社専用Webサイトをご確認ください。

MITSUBISHI CONNECT では、さまざまなサービスをご利用いただけます。

MITSUBISHI CONNECT の詳細などについては、三菱自動車販売会社または三菱自動車お客様相談センターにお問い合わせください。

三菱自動車お客様相談センター

0120-324-860

ホームページアドレス

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/>

■ おもなサービス

MITSUBISHI CONNECTの利用開始にはスマートフォンアプリ「My MITSUBISHI CONNECT」のダウンロード、ユーザー登録が必要です。

詳細は当社専用Webサイトをご確認ください。サービスは追加・変更されることがあります。

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/>

表示項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

カテゴリー	サービス名称	概要
ナビ機能	自動ソフトウェアアップデート	通信によるソフトウェア更新ができます。
	自動マップアップデート	通信による地図更新ができます。 ➡ 地図更新の方法 (P.92)
リモート機能／スマートフォンアプリ「My MITSUBISHI CONNECT」	問い合わせサポート	地図画面上の[Q]をタッチまたはスマートフォンアプリを使用してオペレーターに接続すると、MIT-SUBISHI CONNECT ユーザー登録方法や使い方のサポートを受けることができます。受付時間 24時間 [終了]をタッチすると、回線を切断します。
	セキュリティアラーム通知	ドア不正開錠を検出するとメールやスマートフォンアプリに通知します。
	ドライブ見守り通知	スマートフォンアプリで設定した制限時間、エリア、速度から逸脱した場合、メールやスマートフォンアプリに通知される機能で、家族が利用する場合などの安全運転サポートのために、車両オーナーが利用できる機能です。
	タイマーエアコン	運転開始時に快適な車内温度になるようにタイマー予約ができます。 車種によってはスマートフォンアプリからのみ操作可能となります。 ➡ タイマーエアコン (P.31)
	リモートエアコン(今すぐエアコン)	スマートフォンアプリを使用して、車に乗る前にエアコン開始を操作できます。 ➡ リモートエアコン(今すぐエアコン) (P.94)
	タイマー充電	お好みの時間を指定して自動で充電することができます。 ➡ タイマー充電 (P.30)
	今すぐ充電	スマートフォンアプリを使用して、充電開始を操作できます。
	プラグ挿し忘れ通知	よく充電を行う場所を登録して、充電をするときにプラグ挿し忘れがあった場合、メールやスマートフォンアプリに通知します。
	充電完了通知	充電が完了したらメールやスマートフォンアプリに通知します。
	カーファインダー(駐車位置確認)	エンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをOFFにしたときのおおよその車の位置をスマートフォンアプリで確認できます。
	ドライブ履歴	過去のドライブ履歴(走行距離など)を数値とグラフで確認できます。
	マイカーステータスチェック	スマートフォンアプリ上で車の状態(ドアの開閉状態およびライトの状態など)を確認できます。

カテゴリー	サービス名称	概要
	リモートボイスコントロール	スマートスピーカーによる音声でリモート機能の操作ができます。
	リモートドアロック/アンロック	スマートフォンアプリを使用して、ドアの施錠/解錠操作ができます。
その他	SOSコール(エアバック展開時自動通報機能付)	SOSコール(エアバッグ展開時自動通報機能付)はSOSスイッチ★を押す、またはエアバックが作動することで開始されます。SOSスイッチはマップランプ周辺にあります。 SOSコール(エアバッグ展開時自動通報機能付)の詳細については、車両取扱説明書をお読みください。
オプション	Wi-Fiスポット (docomo in Car Connect)★	MITSUBISHI CONNECT 会員は、任意で株式会社NTTドコモが提供する車内Wi-Fi接続サービスに加入ができます。 ドコモサイトから申し込みいただけます。 申し込みサイト: https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/ (「docomo in Car Connect」および「docomo in Car Connect」ロゴは、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。)



MITSUBISHI CONNECT をお使いになる前に

サービスのお申し込みについて

アドバイス

- サービスのご利用には、MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みが必要となります。詳しくは、購入された三菱自動車販売会社にお問い合わせください。またサービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリの登録を完了する必要があります。お手続きや詳細は、当社専用Webサイトをご確認ください。
 MITSUBISHI CONNECT とは (P.88)
 MITSUBISHI CONNECT メニュー (P.96)
- サービスを提供するうえで必要となる情報(例えば、サービスの利用状況、車の位置や車載機IDなど)はご利用時に情報センターへ自動的に送られます。
- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また本機に保存されている情報は消去してください。詳しくは、三菱自動車お客様相談センターにご相談ください。

ご使用上の注意

- MITSUBISHI CONNECT をご利用になると、電波の受信状態を示すマーク(Telematics Control Unitアイコン)が画面に表示されます。電波の受信状態が良好を示すマーク(📶)が表示されている場所でサービスをご利用ください。
- MITSUBISHI CONNECT は、MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」の電波状態などで、情報センターに接続できない場合や途中で通信が途切れる場合があります。電波状況が良好になってから再度通信を行ってください。
- 画面上のTelematics Control Unitアイコンが良好状態を表示していても、情報センターに接続できない場合がありますが、故障ではありません。少し時間がたってから再度通信を行ってください。
- MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」は、株式会社NTTドコモの3G/4G通信を利用したサービスを提供します。
 以下の場合には、サービスをご利用になれません。
 - サービスをご利用になっている場所が通信エリア外の時
 - サービスをご利用になっている場所が通信エリア内であっても、回線混雑などで発信規制がかかっているとき、もしくは通信状態が不安定なとき
- 2週間以上車を使用されなかった場合は通信ができなくなり、リモート機能などの操作

ができなくなります。この場合は、エンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをONにすると、再度通信ができるようになります。

MITSUBISHI CONNECT が正常に作動しない場合は「故障かな？と考える前に」をお読みください。

 故障かな？と考える前に (P.106)

MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニットについて

この車両には、Telematics Control UnitというMITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニットが搭載されています。

- 本製品には、電気通信事業法第56条第2項の規定に基づく端末機器の設計について認定を受けた設備が組み込まれております。
- 本製品には、電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けた設備が組み込まれております。

地図更新は、USB、Wi-Fi★またはMITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」による更新(自動マップアップデート)★の3種類の方法で行います。

ナビに収録されている地図データは、以下の3つからお好みの方法で最新のものに更新することができます。

- USBを自宅パソコンに接続し、手動操作で地図更新をします。
- データ通信を使わないので、容量の大きな全国地図更新をするときなどにお勧めです。
- USB地図更新については <https://mitsubishi.mapupdate.info/> をご確認ください。

- 自宅Wi-Fi、ルーターまたは携帯電話でのデザリングを使用してナビをWi-Fi接続し、手動操作で地図データを更新します。
- エリアを指定して地図更新したい場合などにご利用ください。

- [自動地図更新]をONにしておく、Telematics Control Unitを通して新しい地図データが配信されると画面にメッセージでお知らせします。
- 🔄 地図更新をする (P.92)
- 自車位置周辺の地図を更新できます。

＜メニュー＞ボタンを押し[情報]→[システム情報]→[地図更新]をタッチ

地図更新の方法を選びます。

表示項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

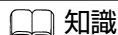
項目		機能・操作説明
[USBメモリで更新]	[USBメモリに地図情報を保存]	地図データをUSBメモリに保存します。 お手持ちのパソコンから専用Webサイト (https://mitsubishi.mapupdate.info/)に接続し、地図データを現在の マップ情報が入っているUSBメモリにダウンロードします。
	[USBメモリから地図をインストール]	パソコンを使用してダウンロードした地図データをUSBからインストールし、地図更新をします。
[Wi-Fiで更新]	[地域選択]	更新したい地域を選択すると、地域内の地図データが更新されます。
[地図更新の設定]	[自動地図更新]	自動地図更新のON/OFF設定をします。 ONに設定すると、ナビ画面に表示されるお知らせメッセージから地図更新をすることができます。 更新はバックグラウンドで実行され、自動更新完了後パワースwitchの電源モードをOFFにし、再度ONにすると更新地図を反映します。

⚠ 注意

- 地図更新を行うときは、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、必ずエンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをONにした状態で行ってください。

📖 知識

- 更新中にパワースwitchの電源モードをOFFにした場合は、次回パワースwitchの電源モードをONにした時に自動で地図更新を開始(再開)します。
- [キャンセル]をタッチして地図更新中に更新をキャンセルすることができます。
- スマートフォンのテザリング機能を使用して地図更新をしている場合は、スマートフォンの電源を切らないでください。
- 地図データは、原則として年3回程度更新しています。
- Telematics Control Unitを使用した地図データの自動更新時は更新中もナビゲーションシステムは使用できます。★
Wi-Fi★、USBを使用した地図更新中はナビゲーション機能は使用できません。更新作業後にエンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをONにして再始動すると、地図データ更新が反映されます。
- USBメモリで地図更新する場合は、USB2.0ハイスピード対応で空き容量が32GBのFAT32でフォーマットされているUSBメモリを使用し、USBメモリを開いたときに表示されるフォルダ(ルートディレクトリ)の中にコピーしてください。
- 以下のUSBメモリは使用できません。
ー暗号化やコピープロテクトされている



知識

—複数のパーテーションに分かれている

- Wi-Fi経由で地図更新する場合は、あらかじめ、Wi-Fi接続をONに設定しておく必要があります。
- USBメモリで地図更新する場合は、USBメモリを挿入してから操作してください。インストールが完了後USBメモリを取り外してください。

リモートエアコン(今すぐエアコン)

この車両には、Telematics Control UnitというMITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニットが搭載されています。本機と情報センター間の通信接続により、さまざまなリモートサービスのご利用が可能になります。

スマートフォンアプリのリモートエアコン(今すぐエアコン)を使用すると、車から離れているときでもエアコンを作動させることができます。

スマートフォンアプリの操作を開始すると、情報センターが車両にアクセスします。車両が遠隔操作のコマンドを受信すると、エアコン制御が即座にオンになり、一定時間経過後(最大30分)に自動的に停止します。エアコン動作のON / OFF確認はアプリで確認できます。

サービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリの登録を完了する必要があります。

お手続きや詳細は、当社専用Webサイトをご確認ください。

➡ MITSUBISHI CONNECT とは (P.88)



警告

- リモートエアコン(今すぐエアコン)を設定しても、システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車内に残さないでください。
- 炎天下では、密閉した車内の温度は急速に上昇し、熱中症や脱水症状などを引き起こすおそれがあります。また外気温が低い場合は、車内の温度が急速に下がるおそれがあります。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

ご使用上の注意

- スマートフォンアプリを使用して車両のエアコンを操作するには
 - 車両が情報センターに接続できる電波状態にある必要があります。
 - スマートフォンが通信圏内にある必要があります。
- 一部のスマートフォンでは、この機能は使用できません。事前にご確認ください。
- 車種によっては、リモートエアコン(今すぐエアコン)の利用時に車両のエンジンが始動します。
- 一部の地域では、駐停車中にエンジンをむやみに始動させた場合、条例に触れ罰則を受けるおそれがありますので十分ご注意ください。
- 道路交通法違反となる場合がありますので公道では使用しないでください。

アドバイス

- リモートエアコン(今すぐエアコン)は、最大30分間作動します。
- リモートエアコン(今すぐエアコン)は、エンジンまたはプラグインハイブリッドEVシステムが停止しているときにのみ動作を開始します。必ずシステムが停止していることを確認してください。リモートエアコン(今すぐエアコン)操作中にエンジンまたはプラグインハイブリッドEVシステムがONになると、リモートエアコン(今すぐエアコン)操作は自動的に停止します。
- Telematics Control Unitの電波状態な

どにより車両が情報センターに接続できない場合、リモートエアコン(今すぐエアコン)は利用できません。

- 車両を2週間以上使用しないと通信ができなくなります。エンジンまたはプラグインハイブリッドEVシステムをONにすると、情報センターとの通信が回復します。
- 外気温が低いときや雪が降っているときなどは、十分な暖房性能が得られず車内が設定した温度にならない場合があります。また、外気温が-15℃近くまで下がるとヒートポンプが停止し暖房が使用できません。
- 車種によっては、リモートエアコン(今すぐエアコン)の温度設定は25℃に固定されます。

MITSUBISHI CONNECT メニュー

MITSUBISHI CONNECT メニューから、いろいろな情報を確認したり、サービスを受けたりできます。

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[MITSUBISHI CONNECT]をタッチ

各種サービス画面を表示します。

表示項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[Call MITSUBISHI MOTORS Assistance]	問い合わせサポートオペレーターに接続します。 ➡ おもなサービス (P.88)
[MITSUBISHI CONNECT設定]	車載機IDなどを表示します。 ➡ MITSUBISHI CONNECT を設定する (P.97)

MITSUBISHI CONNECT を設定する

MITSUBISHI CONNECT の各種設定をします。

<メニュー>ボタンを押し、[情報]→[MITSUBISHI CONNECT]→[MITSUBISHI CONNECT 設定]をタッチ

設定項目は、車種、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目		機能・操作説明
[充電状態の通知]		充電プラグの挿し忘れや充電状況をID連携されたスマートフォンアプリに通知されます。 ➡ MITSUBISHI CONNECT (P.88)
[プローブ情報設定]	[プローブ情報の送信]	走行情報(プローブ情報)の送信をオン/オフします。
	[プローブ情報を消去]	走行情報(プローブ情報)を全て消去します。
[車載機IDの表示]		車載機IDなどを表示します。

MEMO

音声操作の基本操作

基本的な操作の流れ	P.100
-----------	-------

音声操作の使いかた

音声操作画面の見かた	P.101
音声操作を上手に操作するには	P.101
住所や電話番号の発話のポイント	P.101
ボイスタグを活用する	P.102
音声認識できる施設ジャンル・名称	P.103

音声操作の設定

音声操作の便利な設定をする	P.104
---------------	-------

基本的な操作の流れ

コマンドを発話することでさまざまな操作ができます。

- ステアリングスイッチの<  > ボタンを押して音声操作を開始します。
- 入力できるコマンドは音声操作画面内に表示します。
- 操作の方法や発話のタイミングは音声でご案内します。
- 音声で案内中にもう一度<  > ボタンを押すと、すぐにコマンドを発話できます。
- 音声でコマンドは、画面上のアイコンが  から  になってからお話してください。
- <  > ボタンを長押しすると、音声認識を終了します。
- 音声操作のマイクはマップランプの近くにありますが。

➡ マイク (P.76)

押すと、1つ前のコマンド画面に戻ります。始めの画面では、音声操作をキャンセルします。

- ステアリングスイッチの<OK>ダイヤルを回すと項目の選択、押すと操作の確定ができます。

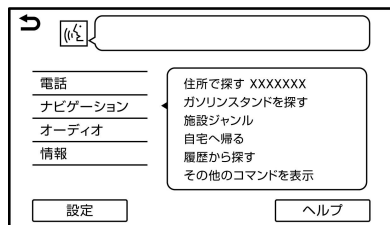
知識

- コマンドを発話する以外にもステアリングスイッチやタッチパネルを使って操作できます。
➡ 音声操作画面の見かた (P.101)
- 音声ガイドの音量は、ステアリングスイッチの<+  -> ボタンで調整できます。
- 音声ガイド中にステアリングスイッチの<  > ボタンを押すと、音声操作を中止して選択したコマンドを読み上げます。ステアリングスイッチの<  > ボタンを押すと音声操作を再開します。
- ステアリングスイッチの<  > ボタンを

音声操作画面の見かた

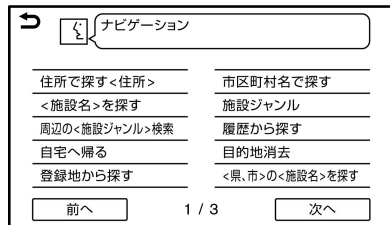
音声操作画面はタッチパネル、ステアリングスイッチで操作が可能です。＜＞ボタンを押してから何も発話していない画面と、発話して階層が進んだ画面とでタッチパネルで操作可能な範囲が異なります。

1. ステアリングスイッチの＜＞ボタンを押す
2. 音声操作の画面が起動したら、画面上のコマンドを発話



この画面上では左側のみタッチ、スイッチ操作が可能です。

3. コマンドリスト画面を参考にコマンドを発話
4. ガイドに従って発話



画面上の全てのコマンドをタッチ、スイッチ操作が可能です。

発話した内容の認識結果は、音声で読み上げられます。

知識

- [前へ]/[次へ]を発話するか、タッチすると前または次のリスト画面を表示します。

音声操作を上手に操作するには

ボイスコマンドを正しく認識させて、スムーズにコマンドを実行させるには、以下の点に注意してください。

- 運転席の声を入力するように設計されているため、運転席以外からの音声入力は認識できない場合があります。
- 同乗者がいる場合は、発話をするのを避けてもらってください。
- マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢でボイスコマンドを発話してください。
- 大きな声でハッキリと正確に発話するなど、呼びかけかたを変えてお試しください。
- ボイスコマンドは、正しく発話してください。コマンド以外の言葉を発話しても、正しく認識されません。
- “えーと”などの声を発したりすると、ボイスコマンドが正しく認識されないことがあります。
- ステアリングスイッチの＜＞ボタンを押した後、アイコン表示がになってからお

話してください。話し始めるまでに時間がかかったときは、その画面で認識できるコマンドの例が読み上げられます。

- リストに表示されている行き先やチャンネル名などは、リストの番号を発話してください。
- 画面上に白で表示されている言葉がコマンドとして認識できる言葉です。灰色で表示されている言葉は発話しても認識することができません。
- ボイスコマンドは自然な速さで発話してください。ゆっくり話すと正しく認識されません。

住所や電話番号の発話のポイント

- 音声入力しているときにステアリングスイッチの＜＞ボタンを押すと、最後に音声で入力した内容を消去しますので、途中から入力をやり直すことができます。
- 住所を入力するときは、東京都港区芝浦三丁目1番21号のように続けて入力することもできますし、都道府県名、市区町村名、大字、字、丁目、番地、号のように分けて入力することもできます。
- 「都道府県名」と「市名」、「市名」と「町名」の間などは、区切って入力もできます。町名の後に大字が続く場合は町名と大字は続けてお話しください。
例1) “とうきょうとみなとく”と続けて発話。
例2) “とうきょうと”と発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから“みなとく”と発話。
例3) “おかやまけんくらしきし”と発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから“みずしまかいがんどおり”と発話。

- 政令指定都市、および東京23区については、都道府県名を省略して入力できます。
- 番地を入力する際、一丁目23番地4号(1-23-4)を入力するには“いちの に さん の よん” または“いっしょうめ に じゅうさんばんち よんごう”と発話します。
- 番地を入力しなくても、大字(おおあざ)まで入力後、“行き先にする”と発話すると、付近までのルートを探します。
- 地域によっては小字(こあざ)の入力に対応していない場合があります。
- 丁目、番地、号には、一部入力できないものがあります。
- 郡名称は、省略可能です。

例) 北海道河東郡音更町 ⇒ 北海道音更町

- 愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地のように、住所に「字」の文字が含まれている場合、愛知県岡崎市橋目町中新切1番地のように「字」を省略しないと認識しない場合があります。

ボイスタグを活用する

登録地やハンズフリー電話帳など、登録されている情報にボイスタグが含まれているものは、ボイスタグを発話して操作できます。

② 短縮ダイヤルの登録、編集 (P.82)

② 登録地を編集する (P.54)

登録名称に電話をかける

ここではハンズフリー電話帳を例に説明します。

1. ステアリングスイッチの<  > ボタンを押す

音声操作画面が表示されます。

音声ガイドが終了してからコマンドを発話してください。

2. アイコンが  から  になったときに“電話”と発話

“電話”コマンドを認識後、次のコマンドを発話してください。

3. “電話をかける”と発話

“電話をかける”コマンドを認識後、次のコマンドを発話してください。

4. 登録したボイスタグを発話

相手先に発信します。

知識

- ステアリングスイッチの<  > ボタンを短く押すと、音声ガイドを中止してすぐにコマンドが発話可能になります。
- 電話帳に登録されているボイスタグは、長すぎると認識されない場合があります。また、記号や英数字が含まれたボイスタグは、正しく認識されません。
- ボイスタグが短すぎる場合や似たようなボイスタグが複数ある場合は、正しく認識されないことがあります。

音声認識できる施設ジャンル・名称

地図更新などでカテゴリーが変更されることがあります。全ての施設が検索できるわけではありません。

キャンプ場	
ゴルフ	
スキー・スノボ場ほか	クロカン・スノシュー
	スキー・スノボ場
	スノーモービル
	リフト・ロープウェイ
スタジアム	武道館
	野球場
	陸上競技場
デパート	
ドライブイン・道の駅	
ビーチ・海水浴場・海岸	
フェリー	
プラネタリウム	
ホール・会館	
ホテル	
マリーナ・ヨットハーバー	
マリンスポーツ	
モータースポーツ・サーキット場	
駅	
温泉・お風呂	
学校	大学
	短大

観光名所	城・城跡・史跡
	名所・観光地等
競馬・競輪ほか	競艇・競輪・オートレース場
	競馬
教会	
空港	
警察署	
公園	レジャー公園
	海洋公園・海浜公園
	観光公園
	国定公園
裁判所	
寺院	
自然景観地	海岸
	湖・沼
	自然名所・観光地
	鍾乳洞・洞穴
	滝・溪谷
	その他の自然景観地
住まい	住宅展示場
神社	
税務署	
総合病院	
動物園・水族館・植物園	サファリパーク
	植物園
	水族館
	動物園
年金事務所	

博物館・科学館・文化施設ほか	博物館・科学館
	資料館
	その他文化施設
美術館・画廊	美術館
保健所	
法務局	
役所	都道府県庁
	市区町村役場
	その他の官公署・公的機関
遊園地・テーマパーク	
旅館	旅館
	温泉旅館
	割ぼう旅館
	簡易旅館

音声操作の便利な設定をする

音声認識ガイドシステムのON/OFFをしたり、システムから流れてくる音声認識ガイドを短くしたりすることができます。

設定のしかた

＜メニュー＞ボタンを押し、[設定]→[音声設定]をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[音声認識ガイドの再生]	音声認識ガイドのON/OFFを設定します。
[音声認識ガイドの短縮]	システムから流れてくる音声認識ガイドを短くします。
[認識結果のリスト表示]	信頼性の高い順に音声認識結果がリストで表示されます。
[システム音声の切替]	システム音声を男性または女性から選択できます。
[システム音声の速さ]	システム音声の話す速さを調整します。

故障かな？と考える前に

本体関係	P.106
EV専用機能関係★	P.107
ナビゲーション関係	P.110
オーディオ関係	P.115
ハンズフリーフォン関係	P.120
Apple CarPlay関係	P.122
Android Auto™関係	P.123
MITSUBISHI CONNECT 関係	P.124
ETC®関係	P.126
音声操作関係	P.127

知っておいていただきたいこと

ナビゲーション	P.130
オーディオ	P.139
ハンズフリーフォン	P.141

索引	P.143
-----------	--------------

本体関係

液晶モニター関係

症状	原因	処置方法
画面が暗い。	車内の温度が低温である。	車内の温度が適温になるまでお待ちください。
	液晶モニターの設定が暗すぎる。	液晶モニターの明るさを調節してください。
画面が眩しい。	液晶モニターの設定が明るすぎる。	液晶モニターの明るさを調節してください。
画面の中に小さな黒点、輝点が現れる。	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
画面が青くなり、エラーメッセージが表示された。	システムの動作などに異常が起きている。	すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
画像に、はん点や、シマ模様がでる。	ネオンサイン、高圧電線、アマチュア無線、他の自動車などからの電波を発する機器からの電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。
表示画面内容が残る。(残像現象)	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
低温のとき、画像の動きが遅い。	車内の温度が0℃以下になっている。	使用温度範囲(0℃～+50℃)に戻れば復帰します。
斜め方向から見ると画像が白っぽく見えたり、黒っぽく見える。	液晶モニターの特性である。	液晶モニターの明るさを調整してください。

EV専用機能関係★

航続可能距離関係

症状	原因	処置方法
航続可能距離が表示できない。	パワースイッチの電源モードがACC状態になっている。	パワースイッチの電源モードをONにすると表示できます。
	航続可能距離が短いために表示できない。	充電してください。航続可能距離が延びれば表示されます。

充電スポット情報関係

症状	原因	処置方法
充電スポットアイコン表示の設定をOFFにしているが、地図上に表示されている。	表示されている充電スポットは、登録地として設定されている。	故障ではありません。
充電スポット情報画面が表示されない。	すべての充電スポット情報が整備されていないため、情報画面が表示されない場合がある。	故障ではありません。 目的地に設定する前に利用可能か事前に電話などで確認してください。
表示されている充電スポット情報画面が、実際の情報と異なる。	地図データが古い。	新しい地図データに更新してください。
検索した充電スポットに行ったが、表示された情報と異なり、充電できなかった。	地図データが古い。 充電スポットの設備が変わった、または持っている充電ケーブルが使用できなかった。	新しい地図データに更新してください。 目的地に設定する前に利用可能であるか事前に電話などで確認してください。

電力消費関係

症状	原因	処置方法
電力消費計画画面に表示されるエアコンON/OFF時の航続可能距離の増減が+0 kmまたは-0 kmと表示される。	モーターに使用している電力に対して、エアコンに使用している電力が少なく、航続可能距離の増減の差が±1 km未満となったため。また駆動用バッテリー残量が少ないときは、航続可能距離の増減が小さくなる。	故障ではありません。

タイマー機能関係

症状	原因	処置方法
設定した時間に充電を開始しない。	タイマー充電の設定がONになっていない。	タイマー充電の設定がONになっているか確認してください。
	充電ケーブルが正しく接続されていない。	充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	今すぐ充電スイッチがONになっている。	今すぐ充電スイッチをOFFにしてください。詳しくは、車両の取扱説明書をお読みください。
	パワースwitchの電源モードがONになっている。	タイマー充電を設定した後は、必ずパワースwitchの電源モードをOFFにしてください。
	シフトポジションが「P」以外になっている。	シフトポジションを「P」にしてください。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
設定した時間にエアコンが作動しない。	タイマーエアコンの設定がONになっていない。	タイマーエアコンの設定がONになっているか確認してください。
	駆動用バッテリー残量が少ない。	駆動用バッテリーを充電してください
	パワースwitchの電源モードがONになっている。	タイマーエアコンを設定した後は、必ずパワースwitchの電源モードをOFFにしてください。
	設定した出発時刻よりもかなり前である、または設定した出発時刻を過ぎている。	故障ではありません。 タイマーが設定されると、出発時刻に車内温度が設定した温度になるようにエアコンが作動し、出発時刻になると自動的に停止します。エアコンが作動するタイミングは車内温度によって異なります。
	シフトポジションが「P」以外になっている。	シフトポジションを「P」にしてください。
タイマーエアコン/リモートエアコン（今すぐエアコン）で、室内が暖まっていない。	外気温が低い。	故障ではありません。 外気温が低いときや雪が降っているときなどは、十分な暖房性能が得られず車内が設定した温度にならない場合があります。また、外気温が-15℃近くまで下がるとヒートポンプが停止し暖房が使用できません。
タイマー充電またはタイマーエアコンの設定画面を表示できない。	パワースwitchの電源モードがACC状態になっている。	パワースwitchの電源モードをONにすると表示できます。
時刻の更新を促すメッセージが表示された。	システムの時計が正しく設定されていない。	メッセージに従い時刻を修正してください。
不要な日もタイマーが作動する。	タイマー充電・タイマーエアコンの設定ですべての曜日がONになっている。	不要な曜日についてはOFFに設定してください。

ナビゲーション関係

地図表示／メニュー画面関係

症状	原因	処置方法
画面が表示されない。	地図以外の画面が表示されている。	＜現在地＞ボタンを押してください。
	画面設定の[画面]の設定がOFFになっている。	＜メニュー＞ボタン→[設定]→[その他の設定]→[画面]のタッチパネル操作で、画面表示のON/OFF切替ができます。
2Dビュー（平面地図）と3Dビューで地名表示が異なる。	画面が煩雑にならないように文字情報の間引き処理を行っているため。また道路や地名などを複数表示することもあり、処理の経緯から毎回同じ内容が表示されるとは限らない。	故障ではありません。
細街路が地図上に表示されない。	安全のため、走行中は細街路は表示されない。	故障ではありません。停車してパーキングブレーキをかけると表示されます。
	幅3m以下の道路は表示されないことがある。	故障ではありません。
メニュー項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

自車位置・自車マーク関係

症状	原因	処置方法
自車位置が正しく表示されない。	エンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをOFFにしてから車を移動した。 例)フェリーや車両運搬車などでの移動	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	ナビゲーションシステムの位置算出精度により、現在位置や進行方向は、走行条件などによってずれることがある。	故障ではありません。しばらく走行を続けると、正常な表示に戻ります。
	駐車場など、道路以外の場所にいる。	故障ではありません。道路上をしばらく走行すると正常な表示に戻ります。
	GPS衛星からの電波が受信できていない。	しばらく走行してください。 それでも受信できない場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
	タイヤチェーンの装着、タイヤ交換などにより、車速信号からの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	約30km/h以上の速度で30分程度走行すると自動的に調節されます。それでも進みや遅れが発生する場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
	市街地図使用時、自車位置精度に対し画面表示が大きいため表示誤差が広がる。	地図の縮尺を拡大すると症状が緩和されます。
市街地図使用時、自車マークが位置ずれを起こす。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS信号が受信できない。	室内に取り付けたGPSアンテナ上には、物を置かないでください。
	表示上ずれが生じることがある。	故障ではありません。
新しい道を走ると自車マークが近くの道にとぶ。	新しい道が地図データに未登録のため、登録されている近くの道路に自車マークを補正する。	地図データは、原則として年3回程度更新版が発売されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
自車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	<現在地> ボタンを押してください。
自車マークが表示されない。		

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
自車位置精度が悪い。	屋内や建物の陰にいるためGPS信号がささえられている。	屋外の見通しの良い場所に移動してください。
	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS信号が受信できない。	室内に取り付けたGPSアンテナ上には、物を置かないでください。
	GPS衛星の配置が悪い。	配置が改善されるまでお待ちください。
	地形データに誤り、または欠落がある(常に同じ場所ですずれる)。	地図データは、原則として年3回程度更新版が発表されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
	低速走行や発進、停止を繰り返した。	しばらく(およそ30km/h以上の速度で30分程度)走行すると自動的に調節されます。それでも進みや遅れが発生する場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

目的地／経由地設定できない

症状	原因	処置方法
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由地にしたい場合は、再度ルート探索を行ってください。
自動迂回路探索(または迂回路探索)をしたが、前回探索したルートと同じ結果になってしまう。	各種条件を考慮した探索を行ったが、同じ結果になった。	故障ではありません。
経由地が設定できない。	経由地の設定数が上限に達している。	数回にわけて設定を行ってください。
行き先の設定で出発地が選べない。	行き先の設定での出発地は、常に現在地になる。	故障ではありません。

音声ガイド関係

症状	原因	処置方法
音声ガイドしない。	音声ガイドはある一定の条件を満たす〇のマークが付いている交差点でしか行わないため、それ以外の場所では音声ガイドをしない場合がある。	故障ではありません。
	ルートを外れている。	ルートに戻るか、再度ルート探索してください。
	[ガイド・メッセージ音声]がOFFになっている。	設定をONにしてください。
	音量が小さくなっている。	音量を大きくしてください。
実際の道路と案内が異なる。	音声ガイドの内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合がある。	実際の交通ルールに従って走行してください。

ルート探索関係

症状	原因	処置方法
ルートが表示されない。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。
ルートが途切れて表示される。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、現在地、または経由地が途中から表示されたり、途切れたりする。	故障ではありません。
通りすぎたルートが消去されてしまう。	通り過ぎたルートは地図上から削除されます。	[走行軌跡設定]をONにしてください。 ② 地図表示の設定 (P.38)

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
大回りなルートを探索する。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、大回りなルートになることがある。 出発地、目的地付近の道路に規制（一方通行など）があるときに遠回りのルートを出すことがある。	故障ではありません。 出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してみてください。
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがある。	地図データは、原則として年3回程度更新版が発表されます。新しい地図更新データに収録されるまでお待ちください。
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルートガイドの開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし近くの道路が細街路を含むその他一般道（灰色の道路）の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
設定した探索条件と異なる条件のルートが表示される。	場合によっては、設定した探索条件に合わないルートが探索されることがある。	故障ではありません。
自動再探索が行われない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。
規制のあるルートが引かれる。	どうしても通らないと到着できない場合は、規制のあるルートを通すことがある。	探索条件の設定を確認してください。
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。
	ルート上を走行していない。	ルート上を走行してください。
	ルートガイドがOFFになっている。	ルートガイドをONにしてください。
	細街路のルートは、ルート情報を表示しない。	故障ではありません。
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークがルートを走行していない（案内記号は、ルート内容に関係があるマークのみを表示）。	ルート上を走行してください。
自動再探索ができない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。

オーディオ関係

Bluetooth®オーディオ関係

症状	原因	処置方法
登録できない。	パスキーが間違っている。	登録するBluetooth®オーディオ機器のパスキーをご確認ください。 Bluetooth®オーディオ機器のパスキーと、車載機のパスキーが一致しているかご確認ください。
	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
再生できない。	本機とオーディオ機器が接続できない。	＜オーディオ＞ボタンを押して、Bluetooth®オーディオモードが選択されているか、ご確認ください。 オーディオ機器にBluetooth®アダプタをつけて使用する場合は、＜オーディオ＞ボタンを押して、Bluetooth®オーディオモードを選択してから、Bluetooth®アダプタの電源をONにしてください。
	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
音が停止する。	携帯電話の接続をしている。	故障ではありません。
	MITSUBISHI CONNECT を使っている。	故障ではありません。
	交通情報ダウンロードをしている。	故障ではありません。
	Bluetooth®オーディオ機器本体を操作している。	お使いのBluetooth®オーディオ機器によっては本体操作で音がとぎれることがあります。＜オーディオ＞ボタンを押してBluetooth®オーディオモードを再度選択してください。
	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
音が飛ぶ。	Bluetooth®オーディオ機器の置き場所によっては、音が飛ぶことがあります。	置き場所を変えてください。
	車内に他の無線機器があると、音が飛ぶことがあります。	他の無線機器の電源をOFFにしてください。
音質が悪い。	音楽データが低ビットレートでBluetooth®オーディオ機器に保存されている。	Bluetooth®オーディオ機器に保存するビットレートをより高レートに変更してください。
操作メニューが使用できない。	接続しているBluetooth®オーディオ機器によっては、使用できない操作があります。	オーディオ機器の取扱説明書で使用する操作をご確認ください。

iPod関係

症状	原因	処置方法
iPodが認識されない。	コネクタケーブルが正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	コネクタケーブルを接続し直してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
	使用しているiPodが、接続対応していない。	iPodの対応機種およびバージョンを確認してください。
	iPodファームウェアが最新でない。	iPodを最新のファームウェアにバージョンアップしてください。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、ナビ本体に接続した。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから再度接続し直してください。
	iPodが正しく動作していない。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodをリセットしてから再度接続し直してください。
	特定のアルバムアートが存在するアルバム／曲を再生した。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodをリセットしてください。合わせて対象のアルバムアートを使用しない状態で再度接続し直してください。
レスポンスが悪くなった。	1つのカテゴリ内の曲数が多い。 さらに、シャッフル機能をオンにしている。	1つのカテゴリ内の曲数を少なくしてください(3,000曲以下)。また、曲数が多い状態ではシャッフル機能をオンにしないでください。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
iPodの曲をプレイできない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまでしっかり接続してください。
曲再生の音が途切れる。	iPodの取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中にiPodが転がらないよう、車内にしっかりと取り付け直ししてください。
音が歪む。	iPodのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをおすすめします。
iPodの充電ができない。	iPodを接続するケーブルが断線している可能性がある。	ケーブルをご確認ください。
ナビゲーションシステムに接続すると、iPodの操作ができなくなる。	—	本機と接続中は、iPodの操作はナビゲーションシステム側から行ってください。
音飛びする。	周辺環境（ノイズなど）により、音が飛ぶことがあります。	故障ではありません。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。

USB接続関係

症状	原因	処置方法
USB機器を認識しない。	USB専用ケーブルが正しく接続されていない。	USB専用ケーブルの接続状態を確認してください。
	USB延長ケーブルを使用している。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	HUBを使用している。	HUBを使用しないでください。
	使っているUSB機器が、接続対応していない。	USB機器の仕様を確認してください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。

地上デジタルテレビ関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてください。
電源を入れても映像がすぐに出ない。	ソフトウェアが起動中である。	故障ではありません。本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。
乱れた映像になるまたは特定のチャンネルで映像が乱れる。	三菱自動車販売会社へお問い合わせください。	
映像も音声も出ない。	地上デジタルチューナーユニットが異常高温になった。	車内の温度を下げってから、電源を入れ直してください。
	車の場所や方向が悪い。	アンテナレベルを確認してください。「地デジ固定」になっている場合は、受信エリアが拡大する1セグ／地デジ切替にて自動もしくは1セグ固定へ切り替えてください。
映像や音声が出ない。 (または、ときどき出なくなる) 映像が静止する。 (または、ときどき静止する)	車の場所や方向が悪い。	1セグ放送視聴中に、受信状態により黒画面になることがあります。故障ではありません。「地デジ固定」になっている場合は、受信エリアが拡大する1セグ／地デジ切替にて自動もしくは1セグ固定へ切り替えてください。
	車両の搭載機器(ワイパー、電動ドアミラー、パワーウインドー、エアコン、ヘッドライト、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機など)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下した。	故障ではありません。
	自動車／バイク／高圧線／ネオンサインなどの近くを車が通過し、アンテナレベルが低下した。	故障ではありません。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリアにいない。	地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	「自宅エリア／おでかけエリア」の設定が適切でない。	「自宅エリア」と「おでかけエリア」設定を切り替えてください。
チャンネルリストに数字が表示される。	放送局名のない受信局をリストに登録している。	故障ではありません。

■ 地上デジタルテレビのメッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせてメッセージが表示されます。
主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
信号レベルが低下しているため、このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の受信レベルが低い場合に表示されます。
このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の電波を受信できていない場合に表示されます。
このチャンネルは現在放送されています。	放送時間が終了しています。番組表などでチャンネルをお確かめください。
データ取得中です。	データ取得中の表示です。故障ではありません。

ハンズフリーフォン関係

適合機種、初期登録手順については、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

症状	原因	処置方法
携帯電話の接続を認識しない。 発信または着信できない。	適合していない携帯電話を使用している。	適合携帯電話機種をご確認ください。
	携帯電話にダイヤルロックなどの操作制限が設定されている。	携帯電話のダイヤルロックなどの操作制限を解除してからBluetooth®接続してください。
特定の電話番号に発信できない。	同じ番号への発信の際、特定の事象（相手が電話に出ない場合、相手が圏外の場合、相手が出る前に切断した場合）が一定の回数繰り返され、その番号への発信ができなくなる場合がある。	携帯電話の電源を一旦OFFにし、再度ONにして接続し直してください。
Bluetooth®の機器登録ができない。	携帯電話がBluetooth®に対応していない。	● Bluetooth®に対応した携帯電話機種をご利用ください。 ● 適合携帯電話機種をご確認ください。
	Bluetooth®の機器登録手順に誤りがある。	● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。 ● Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください。
Bluetooth®の機器登録をしたのにもかかわらず、接続されない、もしくは、切断される。	ナビのBluetooth®がOFFになっている。	ナビのBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のBluetooth®がOFFになっている。	携帯電話のBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のバッテリー残量が十分ではない。	携帯電話のバッテリー残量が十分な状態でご利用ください。
	携帯電話の置き場所によって、Bluetooth®の電波状況が悪くなることがある。	携帯電話を金属で覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の間に密着させないでください。
	Bluetooth®の機器登録手順を完了していない。	● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。 ● 各Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
相手に声が伝わらない。 通話相手側で音が割れたり、途切れたりする。	携帯電話とBluetooth®接続されていない。	携帯電話をBluetooth®接続してください。
	車外の音が大きいく(大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など)。	窓やサンルーフを閉じてください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音の少ないところで操作してください。
Bluetooth®接続でのハンズフリー通話時、音が切れたり、ノイズが入る。	受話／送話音量が大きすぎる。	受話／送話音量を調節してください。
	携帯電話の置き場所によっては、Bluetooth®の電波状況が悪くなることがある。	携帯電話を金属で覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の間に密着させないでください。
携帯電話操作で発信するとハンズフリー機能が使えない。	車内に他の無線機がある。	他の無線機の電源をOFFにしてください。
呼び出し音、着信音などと音声の音量が違う。	機種によっては、携帯電話から発信操作するとハンズフリーに切り替えられない場合がある。	ナビ(車載)のハンズフリー機能から、発信し直してください。
呼び出し音、着信音などと音声の音量が違う。	呼び出し音、着信音などの音量が調節されていない。	着信音は着信時に調節してください。受話音は、通話中にコントロールパネルの<VOL/  >ダイヤルまたはステアリングスイッチの<+  ->ボタンで調節してください。送話音は設定画面の送話音量メニューで調節してください。
電話画面と携帯電話機の電界受信バーの本数が違う。 電話画面に受信バーが表示されている状態で発信しても電話が繋がらない。	電界受信バーの本数の基準が携帯電話機と異なる。	電話画面の電池残量と電界強度表示(バー表示)は一致しないことがあります。目安としてご利用ください。

Apple CarPlay関係

症状	処置方法
Apple CarPlayが起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 ➡ <u>USBポート (P.9)</u> iPhoneに付属のUSBケーブル(またはMFi認証ケーブル)を使用し、破損していないことを確認する。 iPhone側のApple CarPlayの設定をONにする。 Apple CarPlayに対応したiPhoneを使用する。
Apple CarPlayの作動不良: 動きが遅い、アプリの立ち上がりが遅い、Apple CarPlay機能にアクセス時にエラーメッセージが表示される、地図を表示しようとしたら真っ白、など。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 ➡ <u>USBポート (P.9)</u> iPhoneに付属のUSBケーブル(またはMFi認証ケーブル)を使用し、破損していないことを確認する。 iPhoneの契約データプランを確認する。 iPhone側の性能、通信状況を確認。接続し直してみる。 iPhone側の性能、通信状況を確認。iPhoneの電源をOFFにし、再度ONにしてみる。
ステアリングスイッチの < ㊦ > ボタンを押してもSiriが起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 ➡ <u>USBポート (P.9)</u> iPhone側のSiriの設定がONであることを確認する。 ステアリングスイッチの < ㊦ > ボタン を確実に長押しする。

Android Auto™関係

症状	処置方法
Android Auto™が起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 ➡ USBポート (P.9) Androidスマートフォンに付属のUSBケーブルを使用し、破損していないことを確認する。 Androidスマートフォン側のAndroid Auto™の設定をONにする。 Android Auto™に対応したAndroidスマートフォンを使用する。
Android Auto™の作動不良： 動きが遅い、アプリの立ち上がりが遅い、Android Auto™機能にアクセス時にエラーメッセージが表示される、地図を表示しようとしたら真っ白、など。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 ➡ USBポート (P.9) Androidスマートフォンに付属のUSBケーブルを使用し、破損していないことを確認する。 Androidスマートフォンの契約データプランを確認する。 Androidスマートフォン側の性能、通信状況を確認。接続し直してみる。 Androidスマートフォン側の性能、通信状況を確認。Androidスマートフォンの電源をOFFにし、再度ONにしてみる。
ステアリングスイッチの < ㊦ > ボタンを押してもGoogle アシスタント™が起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 ➡ USBポート (P.9) Androidスマートフォン側のGoogle アシスタント™の設定がONであることを確認する。 ステアリングスイッチの < ㊦ > ボタンを確実に長押しする。

MITSUBISHI CONNECT 関係

症状	原因	処置方法
情報センターに接続できない。	MITSUBISHI CONNECT のお申し込みをしていない。	MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みを行ってください。詳しくは当社専用Webサイトをご確認ください。 https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/
	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
	電波が届きにくい場所にいる。	電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。画面に表示されているアイコンが圏内表示になるとお使いいただけます。
	MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット (Telematics Control Unit) の電源が入っていない。	電波が届きやすい場所でもアイコンが圏内表示にならない場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
サービスご利用時、通常の音声電話に比べて、サービスエリアが狭くなったり、つながりにくいことがある。	情報センターとの通信にデータ通信モードを使用している。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直してください。
メニュー画面にある項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
一部の画面が表示されない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
オペレータをご利用時、音声途切れ。またはデータが到達するのが遅くなる。	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合がある。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直してください。

mitsubishi connect メッセージ表示一覧

本機では、状況に合わせてメッセージが表示されます。

メッセージ	原因	対処方法
サービスをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です	MITSUBISHI CONNECT のお申し込みをしていない。	MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みを行ってください。詳しくは当社専用Webサイトをご確認ください。 https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/
圏外です	電波が届きにくい場所にいる。	電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。画面に表示されているアイコンが圏内表示になるとお使いいただけます。
回線使用中です	通信回線使用中である。(自動通信が発生しています。)	地図上の通信中表示が消えてから再度通信してください。
ただいま混み合っています	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
ただいま接続できません	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
	通信回線が切断された。	
	通信回線に接続できない。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。しばらく時間を置いても同じメッセージが繰り返し表示される場合は、三菱自動車販売会社へお問い合わせください。
	自動マップアップデートを購入していない。	詳しくは、三菱自動車販売会社または、MITSUBISHI CONNECT 問い合わせサポートにお問い合わせください。 🔄 おもなサービス (P.88)
ただいま接続できません(B02)	MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット (Telematics Control Unit) が接続されていないか、認識できていない、または故障している。	三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

故障かな？と考える前に

スマートフォンアプリ

メッセージ	原因	対処方法
スマートフォンアプリが使えない	2週間以上車を使用していない。	エンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをONにしてください。
	電波が届きにくい場所に駐車している。	車を電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。

ETC[®]関係

ETC情報は車種によっては表示されません。

症状	処置方法
ディスプレイに「ETCに異常が発生しています ETCサービスが利用できません 販売店に連絡してください。」と表示された。	ETCカードが挿入されている場合は、カードを抜き取ってください。 [OK]を選んで通常のナビゲーション画面に移行させます。その後は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ディスプレイに「ETCカードが読み取れません ETCサービスが利用できませんのでカードを抜いて、確認してください」と表示された。	カードを抜き取り、ETCカードであるか、カードを挿入する向き、表裏は正しいか、を確認してください。
ディスプレイに「料金 0円」と表示された。 (年月日、時刻表示はなし)	ETCカードの端子(金色部分)の傷、汚れなどにより、料金所通過時に課金はされたものの、履歴情報が記録されない場合があります、左記画面表示が出ます。このような場合は、ETCカードの端子部を確認してください。
ディスプレイに「No.2」と表示された。 (上記表示は一例であり、数字部分は02～07の間で出る可能性あり)	料金所通過時に、ETCユニット内部で何らかの異常が偶発的に発生した場合に、異常内容に該当する数字が左のように表示されます(一定時間で表示は消えます)。このような表示が頻繁に出る場合は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
利用履歴の確認ができない。	ETCカード挿入後、認識に2秒程度、時間がかかります。ナビ画面にETCアイコンが表示され、「ETCカードを確認しました。」と案内があった後に、再度利用履歴の確認を行ってください。

故障かな？と考える前に

症状	処置方法
ETCゲートで案内される料金と実際の料金が異なる。	故障ではありません。 ETCユニット(ナビと連動しないもの)を装着している場合、各種有料道路の料金割引が考慮されないため、案内した料金と実際の料金が異なる場合があります。
	故障ではありません。 地図データの収録時期などの関係で、最新の料金が反映されていない場合があるため。

音声操作関係

症状	原因	処置方法
発話しても動作しない。誤認識してしまう。または「もう一度お話しください」というエラーメッセージが出る。	同乗者の発話が認識されている。	同乗者の発話は控えてください。
	発話の音量が小さい。	もう少し大きな声でお話しください。
	発話開始までの時間が長い。 ステアリングスイッチの <  > ボタンを押して、ガイダンスが流れてから5秒以上たっている。	アイコンが  になってから5秒以内にコマンドを発話してください。
	該当するコマンドがない。	画面上に白色で表示されているコマンド、または数字を発話してください。また、正しい読みかたでお話しください。 「えーっと」「あの」など、コマンド以外の言葉を発話すると、とぎれとぎれになったり、言いよどみがあったりすると正しく認識されないことがあります。
	車外の音が大きい（大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など）。	窓やサンルーフを閉じて周囲の雑音を遮断してください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音などの少ないところで操作してください。
	話す速さが遅すぎる。	自然なスピードで滑らかに話してください。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
登録地、短縮ダイヤル、携帯メモリが正しく認識できない。	携帯電話に登録されているヨミガナが異なっている。	正しいヨミガナを登録してください。
	ヨミガナまたはボイスタグが短すぎる、または似ているヨミガナまたはボイスタグが複数登録されている。	名称を長くしてください。また、似ているヨミガナは違うものにかえてください。
住所や施設名が認識できない。	正式な名称を発話していない。	正式な名称で発話してください。（例カンクウ→関西国際空港） 住所の場合、都道府県名、市区町村名など分割して発話することも可能です。
	対象ジャンルに含まれていない。	対象ジャンルに含まれていない施設は検索できません。
数字入力がうまくできない。	一度に入力する数字の桁数が多い。	桁数を区切って入力した方が認識しやすくなります。電話番号を入力するときは市外局番、市内局番などに区切って入力してください。
ステアリングスイッチの< ㇿ >ボタンを押しても、“ビピッ”と鳴って音声操作を使うことができない。	エンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをONにした直後にステアリングスイッチの< ㇿ >ボタンを押した。	しばらくしてからもう一度ステアリングスイッチの< ㇿ >ボタンを押してください。

音声操作でのオーディオ操作

症状	原因	処置方法
接続したUSBメモリが音声操作できない。	機種によってはiPodやiPhoneをUSBだと認識してしまう。	故障ではありません。
	1つ以上のオーディオ機器をUSBポートに接続している。	音声認識できるオーディオ機器は1つです。USBポートにオーディオ機器を複数つないでいる場合には、音声認識したいオーディオ機器を選択してください。 🔊 音声操作の設定 (P.104)
USB/iPodが操作できず、エラーメッセージが出る。	オーディオ機器を接続していない。	オーディオ機器を接続してください。
	オーディオ機器が音声操作するデバイスとして選択されていない。	音声操作するオーディオ機器を選択してください。 🔊 音声操作の設定 (P.104)
USB/iPodのコマンドを使うとエラーメッセージが表示される。	システムが楽曲情報を登録中である。	新しくオーディオ機器を登録するか、登録したオーディオ機器に変更があった場合には、楽曲情報をシステムに登録します。楽曲情報の登録には数分～1時間弱かかる場合があります。登録が終了するまでお待ちください。
	接続したオーディオ機器に収録されている楽曲数が多すぎる。	オーディオ機器内の楽曲を減らしてください。
	オーディオ機器に楽曲情報のある曲が収録されていない。	接続するオーディオ機器に曲を収録してください。曲を収録するときにはアーティスト名や、アルバム名、曲名、プレイリストなどの楽曲情報を入力しておく、音声操作の楽曲検索が可能になります。

ナビゲーション

地図データについて

- 1 本商品に収録されている地図データ(以下「地図データ」といいます。)の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した(一財)日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース(測量法第44条にもとづく成果使用承認12-0040)を基に(株)ゼンリンにて作成しております。
- 2 この地図データの作成にあたっては、(株)ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しております。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-B69号)
・市街地図データは、住宅地図データベースを基に(株)ゼンリンが作成したものです。なお、市街地図データは、地域によって作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部の地域が収録されていない場合があります。
・本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系にもとづくものとなっています。なお、基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。
- 3 この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置

の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)

- 4 3次元地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しております。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 294-B7号)
- 5 交通事故多発地点データは、(公財)日本交通管理技術協会及び/又は(公財)交通事故総合分析センターが提供する1998年11月時点の交通事故多発地点の地図データを基に(株)ゼンリンにて作成しております。
- 6 道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2020年12月、国道、県道、主要地方道はおおむね2020年10月までに収集された情報にもとづき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
- 7 現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区については、立入制限等の規制区域内の地図データの更新を停止しております。
南相馬市(一部)/浪江町/双葉町/大熊町/富岡町/楡葉町/飯館村/葛尾村

■ 渋滞統計データについて

渋滞統計データは現況の渋滞情報を考慮したものではありません。過去の統計情報を基に渋滞を予測・回避したルートをご案内しています。
(渋滞統計データ提供元:NTTデータ、情報提供元:JARTIC/VICSセンター)

■ 交通規制データについて

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を、MAP-MASTERが加工して作成したものを使用しています。

■ VICSリンクについて

「VICS」リンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しています。なお、(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICS)による道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

■ タウンページデータについて

電話番号情報は、NTTのタウンページ電話帳(2020年11月発行)の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ SAPAガイドマップについて

施設情報は取材時(2020年)のデータです。
情報が変更になっている場合がありますので
予めご確認の上おでかけください。

■ 登録商標について

“ゼンリン”および“ZENRIN”は(株)ゼンリンの
登録商標です。



“VICS”は(一財)道路交通情報通信システム
センターの登録商標です。

“タウンページ”は、日本電信電話(株)の商標
です。

■ 注意事項

本商品に使用しているデータは、無断複製・複
写・加工・改変を禁じます。

©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図
協会

©2018 ZENRIN CO., LTD.

©2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELE-
PHONE EAST CORPORATION

©2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELE-
PHONE WEST CORPORATION

©2017 JTB Publishing Inc. All Right Re-
served

知っておいていただきたいこと

■ 安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください。）

本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財物損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。



禁止

「してはいけない内容」を示しています。



指示

「しなければならない内容」を示しています。



警告

①		運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
②		操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。 安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。
③		常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。 本商品に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります。交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。
④		一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。 本商品の一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、本商品に一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
⑤		本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。 本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

■ 重要

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の「ナビゲーションシステム」(「本商品」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトをご使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

● 使用規定

- 1 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトをお客様自身が管理使用する本商品1台に限り使用する権利を許諾します。
- 2 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内に通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
- 3 お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- 4 お客様は、以下の事項を承諾するものとします。

(1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。

(2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)

(3) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5 お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

(1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

(2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。

(3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

(4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用を

すること。

VICSについて

■ 情報の提供時間

FM多重放送: 24時間(ただし定例放送休止日のAM1:00~5:00を除く)

- FM多重一般放送での道路交通情報は15分~30分間隔で更新されるのに対し、VICSで提供される高速道路の交通情報は、おおむね1分または5分間隔、一般道路の交通情報は5分間隔で更新されます。また、FM多重一般放送が文字のみの情報提供なのに対し、VICSでは、図形情報や地図への重ね書き表示などでも情報提供されます。
- 地図(レベル3)情報の表示は、送られてきた情報を車載機で処理(演算)した上で地図上に重ねて表示しています。このためVICS情報の表示に関しては、受信情報に整理、処理を行うために、多少遅れて表示されることがあります。

■ 情報の受信について

- FM多重のオートチューニングは受信状態の良い放送局を受信します。このため必ずしも現在位置付近の情報が表示されるとは限りません。
- FM多重は、FMの音声ステレオ受信可能であっても、情報が受信できないことがあります。
- FM多重の一般放送を受信させた場合には、その後VICS情報(FM多重)の表示に時間がかかる場合があります。

■ VICS情報に関するお問い合わせについて

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数、FM多重放送の定例放送休止日などの詳細情報、サービス契約約款は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL:<https://www.vics.or.jp/about/pdf/provision.pdf>

お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まず三菱自動車販売店、または弊社お客さま相談室へお問い合わせください。

■ VICSから提供される情報

文字表示(レベル1) : 渋滞情報などを文字で表示します。

図形表示(レベル2) : 渋滞情報などを簡易な図形で表示します。

地図表示(レベル3) : 地図上に、渋滞情報などのVICS情報を表示します。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 (1) 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

(2) 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

(2) 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

第17条 (1) 但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

(2) VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれておりません。

現在地表示について

本機のナビゲーションシステムは、車からの情報(車速・ジャイロセンサー)と、人工衛星からの情報(GPS)を組み合わせて現在の自車がいる位置を計算します。そして現在地(自車位置)の情報を地図上に表示することで、目的地までのルート案内を可能にしています。

知識

- GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。
- GPS衛星からの電波を受信しても測位に時間がかかる場合があります。

■ 現在地の補正

GPS受信精度が高いとき、車速・ジャイロセンサーなどから求めた位置の精度が低いとシステムが判断すると、GPSでの現在地補正が行われます。

現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。

故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示になります。

しばらく走行を続けても表示が戻らない場合は、自車位置を修正してください。

🔍 ナビゲーション設定メニュー (P.53)

以下のような場所では、電波がささぎられて受信できなくなることがあります。

- トンネルの中やビルの駐車場
 - 2層構造の高速道路の下
 - 高層ビルの群集地帯
 - 密集した樹木の間など
- 現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。
- 近くに似た形状の道路がある所の走行
 - 基盤目上の道路の走行
 - 緩やかなY字路の走行
 - 直線や緩やかなカーブの長距離走行
 - S字の連続する道路の走行
 - ループ橋などの走行
 - 雪道、砂利道などの走行
 - 旋回、切り返しを繰り返したとき
 - エンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをOFFにしてターンテーブルなどで旋回したとき

- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などの走行

知識

- 車両が停車しているときは、GPSによる位置修正は行われません。
- エンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをONにしてすぐ車を動かしたときも自車マークの向きがずれることがあります。
- サイズ違いのタイヤやタイヤチェーンの装着などでも、現在地がずれることがあります。
- GPSの室内取り付けアンテナはダッシュボード内に設置されているため、ダッシュボード上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。衛星の電波の強度はテレビ放送電波の10億分の1程度ですので、感度が低下したり、受信できなくなることがあります。

ルート探索について

- 表示されるルートは参考ルートです。必ずしも最短であるとは限りません。
- 道路は日々変化しており、地図データ作成時期の関係から、形状、交通規制などに誤りがある場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行に伴う地図の移動は行われません。
- ルート探索終了後、ルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えないことがあります。新しいルートを探そうと、エンジンスイッチまたはパワースイッチの電源モードをOFFにしたときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートが再度表示されるまで時間がかかることがあります。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。
 - どれか1つでもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
 - 経由地付近でルートがつかないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- ルート探索では、細街路を含むその他一般道を含めたルートの探索を行います。(一部地域では探索できないことがあります。)

- 現在地、経由地、目的地付近のみ細街路を含むその他一般道も使用してルート探索を行います。
- 市街地図の収録エリアでは、交通規制情報を加味した探索が行われます。
- 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を含むその他一般道を使用したルートについては、音声での案内は行いません(ただし、目的地付近の細街路では目的地のある方向を音声でご案内します)。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 細街路を含むその他一般道から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路を含むその他一般道に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 以下のようなとき、ルートが探索できないことがあります。
 - 現在位置と目的地が近いとき。この場合はメッセージが表示されます。
 - 現在位置と目的地が遠すぎる時。この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できないとき。
 - 極度に迂回したルートしかないとき。

- 以下のようなルートが表示されることがあります。
 - ー ルート探索しても、現在位置の前、または後からルートが表示されることがあります。
 - ー 目的地を設定しても、目的地の前、または後にルートが表示されることがあります。
 - ー ルート探索しても、他の道路からのルートが表示されることがあります。この場合は現在位置マーク(自車マーク)がずれている可能性がありますので、車を安全な場所に停車させ、現在地マークを正しい道路に修正するか、しばらく走行して現在位置マーク(自車マーク)が正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
 - ー 目的地や経由地を設定するときに、その付近に複数の道路が交差(隣接)していると、遠回りなルートが表示されることがあります。このような場合は、目的地や経由地の設定で地図が表示されたときに、タッチパネルで目的地や経由地付近の道路に修正してください。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジやサービスエリアなどのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
 - ー [冬季通行止め]、[時間規制道路]の設定が「回避」設定のときは時間・曜日規制を終日規制として扱っているため、実際は通行可能であっても遠回りのルートが表示されることがあります。

- ー [一般優先]でルート探索しても、有料道路上にルートが設定されることがあります。ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- ー 陸路のみで目的地に到着できるときや探索条件の設定で[フェリー航路を使う]をOFFにしてルート探索させても、フェリー航路上にルートが設定されることがあります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- ー フェリー航路は、旅客のみ、2輪のみの航路を除いた主なものもがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。
- ー 探索用のフェリールートは国道レベルのもの(国道の延長)です。一般的に、長距離航路は、探索データに登録されていません。
- 現在位置や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

■ ルートガイドの注意点

- 本システムのルートガイドは、あくまでも補助的な機能ですので実際に運転する際には地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- ルートガイドは、ある一定の条件を満たす交

差点でしか行わないため、ルート上では方向が変わっていてもルートガイドを行わない場合があります。

- Apple Carplay/Android Auto™の地図アプリでルートを設定すると、本機能のルート案内が中止される場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより異なった内容になることがあります。
- 音声ガイドのタイミングは、場合によって遅れたり早くなったりすることがあります。
- ルートを外れた場合は音声ガイドは行いません。また、外れたことを案内しません。
- [ガイド・メッセージ音声]のON表示が消灯している場合は、音声ガイドは行われません。また、[ガイド・メッセージ音声]のON表示が点灯している場合でも、ガイド音量設定がOFFになっていると、音声ガイドは行われません。
- 音声ガイドは、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、ガイドが開始されるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと音声ガイドが行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときもガイド開始時と同様に、次の音声ガイドが行われるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと音声ガイドが行われ、音声ガイド(ルートガイド)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

- 音声操作時は、音声ガイドは行われません。

知識

- 時間指定の一方通行規制は、探索条件の[時間規制道路]の設定をしても、ルート探索に加味いたしません。
- 地図データの更新により、収録エリアは変わります。

オーディオ

Gracenote音楽認識サービス

■ Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。

Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細については、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ: copyright © 2000-present

Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDb、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



■ Gracenote音楽認識サービスのご利用について

この製品を使用する際は、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。

お客さまは、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenote データを使用することはできません。お客さまは、Gracenote データ、Gracenote ソフト

ウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。

お客さまは、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客さまは、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客さまは、お客さまがこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客さまの使用許諾契約が解除された場合、お客さまは Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客さまが提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客さまに対して負うことはないものとします。

お客さまは、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客さまに対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客さまを認識しながらも、

特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客さまに対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。

Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客さまに提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないかなる保証もしないものとします。

Gracenote は、お客さまによる Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Grace-

note は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

地上デジタルテレビについて★

■ 製造メーカーについて

本地上デジタルチューナーは、三菱自動車工業株式会社向けに Robert Bosch Car Multimedia GmbH が開発・製造しています。

■ 地上デジタル放送

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

■ 1セグ放送

地上デジタル放送に加え、1セグにも対応しています。

また、地上デジタル放送⇔1セグへの自動切り替えまたは手動切り替えにより、受信エリアが拡大します。

知識

- 本機は、双方向データサービスに対応していません。
- 本機はワンセグのデータ放送には対応していません。
- 番組によってはサイマル放送が運用されていない場合があります。

■ ご留意していただくこと

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、またマクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は ARIB (電波産業会) 規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ 用語解説

データ放送:

お客さまが見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客さまのお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

3桁チャンネルと物理チャンネル:

● 3桁チャンネル

地上アナログ放送では、1つのチャンネルで1つの番組を放送しており、チャンネル番号はその放送局に対応しています。それに対して地上デジタル放送では1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できるため編成チャンネルと呼ばれる3桁のチャンネルが設

定されています。3桁のうち最初の2桁は放送局を示すチャンネル(リモコンチャンネル)、最後の1桁はその放送局の中でのチャンネルを示す代表チャンネルとなっています。

● 物理チャンネル

物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネル番号のことです。地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり実際に受信する周波数を送信しているチャンネル(物理チャンネル)と放送局を示すチャンネル(リモコンチャンネル)が異なります。

ハンズフリーフォン

ご使用上の注意

- ハンズフリーフォンをご使用になるときは、必ず本システムに携帯電話を接続してください。
- 12Vバッテリーあがり防止のため、エンジンおよびプラグインハイブリッドEVシステムを始動した状態で使用してください。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。
- 以下の場合には、ハンズフリーフォンを使用できません。
 - 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
 - トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 以下の機能が設定されているとハンズフ

リーフォンが使用できません。設定を解除してください。(機能の解除方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をお読みください)

— ダイヤルロック、オートロック、オールロック、セルフモード

— その他、発着信を制限、もしくは禁止する機能

- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがあります。これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出る場合があります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 携帯電話の電波状態が悪いときや、高速で走行しているとき、窓を開けているとき、エアコンファンの音が大きいときなどは、通話中のお互いの声が聞こえにくいことがあります。
- エンジンスイッチまたはパワースwitchの電源モードをONにした直後は、電話の着信を受けることができません。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- Apple CarPlayまたはAndroid Auto™が起動している間は、他の携帯電話のハンズフリーフォン機能は使用できません。

■ 故障、サービスなどについて

- 万一、ハンズフリーフォン機能が故障したときは、お買い上げいただいた三菱自動車販売会社にご相談ください。

Bluetooth®電話機について

Bluetooth®電話機は、無線(Bluetooth®)で通信を行うことのできる電話機です。ケーブルで接続しなくても本機との通信ができるため、例えば胸ポケットに電話を入れたままでもハンズフリーフォンとして使用することができます。

- Bluetooth®通信用の車両側アンテナは本システムに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置いたり、シートや身体の間密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常より携帯電話の電池の消耗が早くなります。
- Bluetooth®オーディオ使用時にハンズフリーフォンを使用すると、Bluetooth®オーディオは一時停止します。
- 放送局や他の無線機器が近くにある場合は、正常に接続できないことがあります。
- ペースメーカーなどの電子医療機器に影響を与える可能性がある場合は、Bluetooth®接続を「OFF」に設定してください。
- Bluetooth®機器とWi-Fi機器は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、お互いを近くで使用するすると電波障害が発生し、通信速度の低下、雑音の発生、接続不能になる場合があります。この場合は、お近くのWi-Fi機器の電源をお切りください。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Robert Bosch GmbHはライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

A		E		S	
AM(ラジオ)	P.63	ETC	P.60	Siri	P.84
Android Auto	P.85	EV情報メニュー画面	P.26	SMS	
Androidスマートフォンを接続する	P.85			受信する	P.80
Google アシスタント	P.86			送信する	P.80
設定	P.86	F		T	
Apple CarPlay	P.83	FM(ラジオ)	P.63	TV	P.71
iPhoneを接続する	P.83	FM多重情報を見る	P.57		
Siri	P.84			U	
設定	P.84	G		USB	
		Google アシスタント	P.86	USBポート	P.9
B		GPS情報	P.12	オーディオ	P.64
Bluetooth					
オーディオ	P.68	H		V	
携帯電話	P.76	HDMI	P.69	VICS	P.57
Bluetooth(携帯電話)				イ	
ON/OFF	P.13	I		一般(道路)優先	P.47
初期登録	P.13	iPhone	P.83	緯度経度で探す	P.41
設定	P.81	iPod	P.64, P.68		
電話機の切り替え	P.13			ウ	
パスキー	P.13	M		迂回する	P.52
Bluetoothオーディオ	P.64, P.68	MITSUBISHI CONNECT	P.88	オ	
オーディオ機器の切り替え	P.13	MITSUBISHI CONNECT		オーディオ	
設定	P.13	MITSUBISHI CONNECT メニュー	P.96	Bluetoothオーディオを使う	P.64
登録	P.13	オペレータサービス	P.88	HDMI接続機器を使う	P.69
		情報チャンネル	P.88		
C					
CarPlay	P.83				

iPodを使う	P.64
USBメモリを使う	P.64
交通情報をきく	P.63
設定	P.62
操作画面	P.65
テレビを見る	P.71
メニュー画面	P.66
ラジオ	P.63
音声操作	P.100
音量を調整する	P.19

カ

ガイド	
ガイド音声ON/OFF	P.19
ガイド音量	P.19
合流ガイド	P.56
踏み切りガイド	P.56
回避エリア	P.55
カメラシステム	P.9
画面	
EV情報メニュー	P.26
画質を調整する	P.20

キ

機器接続画面	P.13
USB接続画面	P.17
Wi-Fi画面	P.16
登録機器画面	P.13
記号	
地上デジタル放送アイコン	P.72
地図上のマークや記号	P.37

距離優先	P.47
------------	------

ケ

携帯電話	
音量を設定する	P.76
各部の名称と機能	P.76
携帯電話の接続をする	P.13
ステアリングスイッチ	P.9
短縮ダイヤルの登録、削除	P.82
着信画面の見かた	P.78
通話中画面の見かた	P.79
電話メニュー画面	P.77
電話を受ける	P.78
ハンズフリーフォンの設定をする	P.81
マイク	P.76
メッセージ機能を使う	P.80
経由地を追加する	P.49
消す	

VICS表示	P.58
画面	P.20
施設アイコン(マーク)	P.38
登録地	P.54
目的地	P.11, P.52
目的地の履歴	P.53

現在地	
修正する	P.53
周辺施設を探す	P.45
探索結果画面(ルート)	P.46
地名を見る	P.36
登録する	P.11

コ

航空写真	P.88
更新	
地図	P.92
交通情報	P.63
故障かな？と考える前に	
Android Auto関係	P.123
Apple CarPlay関係	P.122
MITSUBISHI CONNECT 関係	P.124
オーディオ関係	P.115
ナビゲーション関係	P.110
ハンズフリーフォン関係	P.120
コントロールパネル	P.8

サ

探す	
施設ジャンル	P.42
充電スポット	P.29
目的地	P.41

シ

施設	
施設ジャンルから探す	P.42
施設情報を見る	P.40
自宅／職場	
登録する	P.23
充電スポット	
アイコン	P.28
探す	P.29

縮尺を変える P.36
受信

SMS(ショートメッセージ) P.80

VICS情報を受信するには P.133

消去する

登録地 P.54

登録ルート P.53

目的地 P.11, P.52

目的地の履歴 P.53

情報

地図上のアイコン P.28

情報メニューについて P.12

情報を見る

VICS情報 P.57

施設情報 P.40

ショートメール P.80

初期設定をする

Bluetooth携帯電話機 P.13

進行方向を上にする P.38

ス

スイッチ

コントロールパネル P.8

ステアリングスイッチ P.9

セ

接続

Android Auto P.85

Apple CarPlay P.83

Bluetooth機器 P.13

携帯電話機を接続する P.13

設定

Android Auto P.86

Apple CarPlay P.84

Bluetooth P.13

EV専用機能 P.33

オーディオ P.62

音声操作 P.104

テレビ P.74

時計 P.21

ナビゲーション P.53

ハンズフリーフォン P.81

ルート P.52

設定メニュー P.17

ソ

操作音の調整 P.19

操作画面

USBメモリ P.65

テレビ P.71

電話 P.77

ラジオ P.63

挿入口

HDMI P.69

USB P.9

タ

タイマーエアコン P.31

タイマー機能

エアコン P.31

充電 P.30

タイマー充電 P.30

タイマー充電について P.31

チ

地上デジタルテレビ P.71

地図

設定 P.38

地図更新 P.92

地図表示 P.36

地図更新 P.92

地図上

アイコン P.28

地図データについて P.130

着信(電話) P.78

中止

ルートガイド P.51

調整する

音量 P.19

画質 P.20

ツ

追加する

ルートに追加する P.46, P.49

通知 P.11

テ

テレビ P.71

電力消費計画画面 P.27

電話 P.76

SMS機能を使う P.80

音量を設定する	P.76
各部の名称と機能	P.76
ステアリングスイッチ	P.9
短縮ダイヤルの登録、削除	P.82
着信画面の見かた	P.78
通話中画面の見かた	P.79
電話機を接続する・つなぐ	P.13
電話メニュー画面	P.77
電話を受ける	P.78
ハンズフリーフォンの設定をする	P.81
マイク	P.76
電話番号で探す	P.41

登録する	
Bluetooth	P.13
携帯電話	P.13
自宅／職場を登録する	P.23
ルート	P.52
登録地	
編集する	P.54
時計を設定する	P.21

ナビゲーション	
設定	P.53
地図の見かた	P.36
地図表示の設定	P.38
目的地メニュー	P.41

場所を探す	P.41
パスキー	P.13
ハンズフリーフォン	P.76
接続する	P.13

ビックス→VICS	P.57
表示	
充電スポットアイコン	P.28
電力消費計画画面	P.27

プリセット	P.63
Bluetooth	P.13

編集・変更する	
登録地	P.54
ルート	P.49
ルート探索条件	P.50

マイク	
ハンズフリーフォン	P.76
マップメニュー	P.11

見る	
電力消費計画画面	P.27

メッセージ	P.80
メニュー	
オーディオ	P.66
テレビ	P.72
ナビメニュー	P.36
マップメニュー	P.11
メニュー画面	P.10

有料道優先	P.47
-------------	------

予約する	
エアコン	P.31
充電	P.30

ラジオ	P.63
-----------	------

リモートエアコン(今すぐエアコン)	P.94
-------------------------	------

ル

ルート探索結果画面	P.46
ルート探索条件	P.50
ルートメニュー	P.52
ルートを選ぶ	P.47
ルートを登録する	P.52

MEMO